京城日報

十二日夕刊

定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五十五錢
廣告料
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

第卅九回特別帝國議會

衆議院（十一日）

▲内相彈劾案（十二日朝刊より續く）

後藤内相彈劾案の提出理由を說明す可く先づ登壇せるは

▽早速整爾氏（憲政）なり曰く『後藤男の不謹愼、不誠意、惡德、亂行之を飽く迄彈劾せざる可からず後藤男の在野當時配布したる印刷物は悉く國辱たると共に外國に對して帝國の面目を傷け且我軍隊の名譽を毀損するの記事を以て滿されたり後藤男は當時政權爭奪を目的とする陰謀團を組織し其手段の爲めに國利を犧牲にして斯くの如き陰險なる行動を爲して憚らず殊に此の冊子に就て華族會館に人を會し問題の人西原龜三をして其說明に當らしめ後に至り狼狽して自ら配布したる印刷物の回收に努むるに至る自ら惡を知て敢て政權爭奪の爲めに途を選ばざりし證左に非ずや後藤男にして國務大臣の責任に止まるとせば國民の風敎を如何せんや』と之に對し

▽堀切善兵衛氏（政友）登壇『後藤男の配布したる印刷物中の內容は大部事實を列擧せるものと信ず大島陸相が事實無根と議場に答辯せるは前內閣の名譽の爲めにせるのみ前內閣は過大なる要求を支那に提出し總選擧前二週間に之を發表して外交を政爭の具に供したり前內閣の倒れたるは前內閣自らの過誤失敗に依りて倒れたるなり憲政會の諸君は徒らに政權に焦爭して效果無き彈劾案を提出する無く靜に時期を俟つべきなり』

と述ぶるや此の時樋口秀雄氏（憲政）は議事進行に關し發言を求め『議長は曩に本員が提出したる質問書の內容が前議會の秘密會の內容に涉るとの故を以て質問書を撤回せしめたるに今堀切君の演說中秘密會の內容に涉るものあるに何故に取消を命ぜざるや』と怒號するや

▽大岡議長は『樋口君の質問書は院議を以て撤回せしめられたり樋口君も堀切君の演說取消には同樣の手續を履まるゝを要す』と稱し（議長不公平、橫暴）の聲起る次で

▽上島長久氏（憲政）登壇『後藤男は國家の非とする處を等しく國外に發表せり而も男は單なる參考資料を配布したるのみなりとて責任を免れんとす政治道德上斷じて許す可からず』とて長々と身振澤山に辯じ立て笑聲裡に彈劾演說を爲し續いて

▽兒玉右二氏（中立）登壇『余は此の印刷物の全部事實なるを信ぜんとす憲政會の大竹、小泉柴の諸君も此の事實を知れる筈なり陸相が事實無根と云ひたればとて仰々敷論せらるれど之恰も參謀本部に秘密書類を要求し尾崎前法相に大浦事件を問ふに等し野に在る後藤男が時の政府の外交を國家に不利と見て知人に印刷物を配布し研究の資料に供せる何かあらん』次で

▽關和知氏（憲政）登壇『印刷物中の事實を否認せるは獨り陸相のみならず後藤男も之を虛構の事なりとせり見よ之を出版せる理由は政權爭奪の爲め捻出し苦心の餘りに出でしに在らずや此の爲めに帝國の外交を傷けたる事後何たるを知らず殊に後藤男は內相として選擧干涉を試み內外の國政を紊る一日も臺閣に在る可からず』と述べ

▽福井三郎氏（政友）登壇後藤男の在野の當時國家を憂ふるの餘に出でたる行動を以て今內相として責を負はざる可からずとせば前內閣憲政會の諸大臣中果して其資格ある者ありしか』と長廣舌を弄し恒松隆慶氏より討論終結の動議出づるや後藤內相發言を求めて登壇す（東京特電）

◎段張兩軍の危機去る

段祺瑞張勳兩軍間の危機一時切迫したるも其後讓步的となりたれば再び戰鬪を開始する事は無かる可しと（北京電報）

◎張雷兩氏銃殺に決す

復辟內閣の度支部尙書張鎭芳同陸軍尙書雷震春の兩氏は銃殺の刑に處する事に決せり（北京電報）

◎獨宰相の講和條件

獨逸宰相ベートマン、ホールウエッヒ氏は無併合條件の下には斷じて講和締結を肯んずる能はずと聲明せり（桑港電報）

◎獨逸の皇族會議

獨逸皇族會議開催されたるが這は開戰以來最初のものなりと（桑港電報）

◎獨逸外相の辭職

獨逸外務大臣は辭職したり（桑港電報）

◎議會延長か

議會は十三日を以て開期盡くるも諸議案未了の案件猶殘存するを以て或は一日若くは二日間の延長を見るに到らん乎（東京特電）

◎北京政局情報（十一日某所著電）

段祺瑞氏の外交事務取扱者なる王廷瑞氏は北京首席公使なる和蘭公使へ左の事を申込みたりと

張勳氏は段祺瑞氏より提出せる條件を悉く拒絶せしを以て段は張を討伐するに決せり然れども戰鬪地域は努めて之を縮少する筈なり

◎豐永博士歸鮮

總督府中央試驗所長農學博士豐永眞里氏は十二日朝入港の新羅丸にて釜山に上陸午前十時三十分發の列車にて歸任の途に就けり（釜山特電）

◎小樽高商生通過

滿鮮見學中なりし小樽高商生徒五十一名は十一日午前五時四十分著列車にて來釜內二十五名は午前六時四十分出港連絡船對馬丸にて廿六名は同午後八時三十分出港連絡船さくら丸にて歸校の途に就けり（釜山特電）

兩院議事雜電（十一日東京發某所著）

其一　本日午前十時貴族院本會議開會東拓改正法律案は勝田藏相の說明ありて九名の委員に附托し同十一時散會

其二　十日午後四時より秋山政府委員は幸倶樂部に於て東拓改正法案の說明を爲し十一日午後七時より研究會にても同樣の說明せり

其三　貴族院豫算第六分科會は本日午前九時開議本府豫算に移り鈴木政府委員の追加豫算大體の說明を爲したる後質問に入り鎌田勝太郎氏は一般產業狀況及び之が保護獎勵機械工業の振はざる理由米穀收穫增加の理由棉作及び土地調査の狀況道路計畫仁川築港鐵道新規計畫及び輕便鐵道に關し安場男爵は營林廠經營地に關し山內男爵は設備金增加の理由に關し小早川男爵は鐵道局の新驛屯土に關し小松謙次郎氏は朝鮮鐵道の委託經營に關し其方法豫算關係從業員の處置及び委託時期等につき細谷繁太郎氏は敎科書及び學校經費に關して質問し鈴木政府委員一々之に答辯せり

其四　衆議院豫算委員會は本日午前開議本府關係事項中恩給金を雜給雜費より支出する件及び光濟丸支部長に關する件は會計檢査院の報告通り決定鎭南浦築港の件及び鐵道改正費の件は主查不在につき決議を延期せり

其五　衆議院請願委員會にては日露戰役に於ける被擊沈船救恤の件朝鮮神社官幣大社奉祀の二件を採擇するに決定せり

其六　本日午後一時より衆議院本會議を開きたるも本府關係事項なし又午後貴族院特別委員會に於て朝鮮鐵道用品特別會計廢止法律案を可決せり

◎高等調查委員會總會

十六日總督府第二會議室に於て高等土地調查委員の總會を行ふ事となりしが該總會には過般高等委員會の官制改正後第一次に開かるゝものにて提出案は各部限りに決定を見難き事項並に裁決例の變更及び法律上の解釋に關する疑議等にて席上論議尋究し其の一致點を見出すにありと

◎朝鮮赤十字弔電

日本赤十字社朝鮮本部長山縣政務總監は前同社々長花房子爵の薨去に對し十一日を以て深厚なる弔電を發したり

◎辭令（十日附）

朝鮮總督府判事　小松博美
補海州地方法院判事十給俸下賜

朝鮮總督府判事　小出清一
補大邱地方法院井邑支廳判事十給俸下賜

朝鮮總督府檢事　千綿榮六
補光州地方法院木浦支廳檢事十給俸下賜

全州地方法院全州支廳判事　鄭樂憲
補公州地方法院江景支廳判事

◎總裁理事歸期

株主總會列席のため東上し爾來滯在して特別議會に出席しつゝある東洋拓殖會社總裁石塚英藏理事子爵松平直平の兩氏は議會閉會後要務堆積のため直ちに歸鮮の途に就くべく二十日前後に著京する事となるらん

◎マ氏一行の退京

過般來滯在中の米國雜誌記者マクルーアー氏一行は連日の雨天に拘らず仁川築港及び水原模範場の視察を爲し十二日午前九時二十分發にて奉天を經て北京に向ひたり

◎井上鮮銀營業課長

朝鮮銀行營業課長井上正愛氏は目下群山方面に出張中なるが來る十六日頃歸京の筈

◎支那の將來と帝國の地位

林學博士　中村彌六氏談

元代議士林學博士中村彌六氏は支那今次の動亂に際し寢心禁ぜず支那漫遊を企てしも途中例の復辟取消となり宣統帝の退位を見たるより最早其の要なしとて見切を付け、途中安東縣より引返し來り目下京城浪尾旅館に滯在中なるが、氏は旅行の序でを以て流石に御得意の本領に戻り鴨綠江材の狀況を視察したる由、氏が鴨綠江材に對する林政學上の意見は更に項を改めて紹介すべきも記者の問に答へて語れる支那問題に關する意見左の如し

▲支那の芝居　も到頭ものにならなかつた樣で、實は老生も失望しましたよ。それ故引返して來た樣な譯だが、何しろ南北軍の爭ひたる到底氷炭相容れない事は解り切つてゐる譯である。夫れは何しろ舊智識と新智識の衝突であるから迚も納まりが付かぬ事は解り切つてゐる次第である。併し此のまゝ放つて置くことは、非常なる危險なことで、我國は此の際緊褌一番して隣邦の爲め又一には自衛の爲め大に考へなければならぬと思ふ。實際今日のまゝで放任して置くと、今に支那は▲列強から分割　されて了ふ事は判り切つてゐる、見玉へ歐洲列強の各交戰國は何に據つて二千億の借金を決濟するだらうか、這は謂はずしても明かなことで、此の巨額なる負債は貿易に據つて決濟しなければ迚も不可能であらう。ところで我國は何うであるかと云ふに此の秋各國が猛烈に貿易上の平和戰に全力を注ぐとき、安閑としてゐては折角今迄の順境に立つて、何億かの巨富を贏ち得たのも戰後に至つて皆んな▲外國へ逆戻り　する樣な事がありはしまいか、天下の識者が憂ふる所は眞に此の一點にあること公言するに憚らぬ次第である、日本が戰亂中凡てに於て順境に立ち勝利者の側に立つたに拘はらず、戰後平和克復の曉きに到つて、今迄の好運は夢を見た樣な結果に陷りはしまいかと氣遣ふのである、是等は大に君逹が聲を大にして國民の閑夢を覺醒しなければならぬ事であらうと思ふ。

◎荏原郡觀察團入京

東京府荏原郡敎育視察團は支那滿洲の視察を了へ十一日午後七時半著列車にて入京したるが一行は團長松原一彥氏以下二十六名にして十二日は午前中南山公園、日の出小學校、高等女學校、高等普通學校、昌德宮秘苑等を巡視し正午より朝鮮ホテルにて總督府學務局員の講話及び午餐の饗應あり午後より景福宮を觀覽それより朝鮮に於ける家庭の狀況等を視察の後長春館にて東京出身者その他の歡迎會ありたる筈にて十三日は午前中仁川に向ひ、午後の急行にて釜山に向け出發の由

▲中野政次（班長）▲小倉龜治郎▲有賀育次郎▲高梨聰助▲柘植陝五郎▲佐野懋之助▲淺川哲雄▲池田易之▲增井宗太郎▲石崎太八郎▲高橋商士▲渡部政高（理事）▲柴田傳三郎（班長）▲花澤乙丸▲成田榮治▲高橋富松▲松原一彥（團長）▲橫森英作▲大竹繁人▲平野文藏▲橫濱一清▲葛城秀賢▲山浦稔▲橫溝良三▲重本哲三郎▲小竹森健治（理事）

◎東拓進展

本社の東京移置

東洋拓殖會社改正法律案は多分十三日の貴族院本會議に上程通過を見るべきが會社にては石塚總裁松平理事の歸任後新法案の實施に關する諸議を凝らし徐ろに其の實行に著手し

▲進展を企圖　すべきが先づ其の本社の東京移轉は多分來る十月一日よりとなるべきもコハ會社の事業範圍擴大し名實共に東洋的となる結果朝鮮に於ては朝鮮總督府滿洲に於ては關東都督府の監督を受け更に一般的の監督權は中央政府にて之を握るため諸般交涉の便宜上之れを移すものに付總裁は今後多く東京に在任する事となるべきも現本社員の多數を擧げて東京に移すものには非ず本社在勤は少數なるものゝ如し本社東京移置の結果

▲京城は一支店　となるべきも東拓の現に朝鮮に所有する廣漠の土地と移植せる多數の移民と貸付けたる金融の監理經營には現在位の機關を要するは勿論なるべく更に事業範圍の擴大あり京城支店員は現本社員より減ずるとも極めて少數ならん滿洲方面には先づ奉天其他に出張所の新設を行ふべく

▲事業金融の經營　を滿蒙各地に汎く行ふため既報の如く鮮銀との間の連絡實行にも其の步を一進せん兎に角今後の東拓は事業經營範圍の增加並に區域の擴大により頗る多忙を呈し來るべし

◎張勳武裝解除條件

張勳氏は北京駐紮外交團が市街戰を避けんとする旨の通告を了解し若し清朝及部下軍隊の安全を保障し己を待つに逆賊を以てせず武士的待遇を與へなば屑く武裝を解除すべしと回答せり（北京電報）

◎段氏清朝優遇承認

皇帝の稱號は廢止

段祺瑞氏は張勳の主張する條件中清朝の優遇を承認したるが清室に對しては萬壽山に移轉を命じ將來皇帝の稱號を廢止すべしと（北京電報）

◎朝鮮郵船の運賃改正に就て

原田社長の談

朝鮮郵船會社にては既報の如く來る十六日より沿岸受命航路の貨客運賃に改正を加へ其の引上を實行する事となりしが右に付原田社長は曰く今回の運賃引上は實に止むを得ざるに出でたり由來朝鮮郵船現行の運賃は明治四十三年會社の成立を見ざる以前各船會社並に個人船主間の朝鮮

▲航路競爭激甚　を加へ貨客運賃は頗る低率となり居りし際其低率中の最も低き賃金を以て認可運賃を定め其範圍內に實行運賃を作製したるものにて恐らく世界唯一無二の低率運賃と云ふべく海運界の殷盛素晴しき今日より見れば驚ろくべき事實たり然も會社は朝鮮產業の發展を助長せしむる意味より出來得る限り犧牲を忍び今日迄低率運賃にて經過し來りしも船價の暴騰は傭船料の天井知らずとなり現時の相場を平時に比すれば正に五倍內外の突飛値たり更に消耗品たる

▲石炭は倍額　に上り船舶の修繕料も二倍強を示し保險料亦十割以上の値上りを見居れり而して船客の賄ひの如きも米價其他の昂騰今日の如ければ其の失費決して少なからずこれ等の關係は會社運賃の引上を餘儀なくせしめたり然も今回の改正は乘客に於て一二等を二割貨物を品目により三割乃至四割方引上げしに過ぎず未だ船價消耗品其他の暴騰には斷じて添ひ居らず素より朝郵の經營航路は多く命令航路にて國家より

▲相當の補助　を受け居れど其同く命令たる日本郵船の諸航路が其運賃を平時の二倍乃至三倍に引上し位にありと云ひ得るなり唯前述の如く朝鮮沿岸の運賃は世界屈指の低率狀態にあるため社外船の來航漸減しつゝあり從つて會社航路は豫期以上の貨客を積載し得るより聊さか自ら慰さめ得るなり

◎商議役員會

既報の如く京城商業會議所にては十二日午後二時より役員會を開き約手問題に關し銀行業者と打合せする所あり其の支拂場所を指定せられたる約手に對しては割引料を安價ならしむる等の件に就き交涉せるが同日支那商人側華商總會とも打合せ交涉する所ありたりと

◎平安丸の公式運轉

來る二十日神戶川崎造船所より引繼ぎを受くべき朝鮮郵船の平安丸（一千五百七十五噸）は十日其の公試運轉を行ひし由なるが成績頗る良好にて速力は十二浬一を出せりと

【大田】

▲大田の屠獸數　大田畜屠所に於て六月中屠殺したるは牛六十一頭、豚二十七頭、犬四十五頭なり▲大田叺檢查高　大田叺莚改良組合に於て六月中檢查したる叺の總數は三千三百五十六枚にして內特等百八十七枚、一等三百二枚、二等六百六十二枚、三等千九百七十五枚、不合格二百三十枚にして前月に比し總數に於いて大差なしと▲中學の臨時試驗　京城中學校大田分教場に於ては六日より二日間臨時試驗を執行せり▲柴崎中學校長來去　京城中學校長柴崎鐵吉氏は忠淸北道忠州淸州方面の學事視察の途次鳥致院を經て五日夕大田に來り本町中川旅館へ投宿所用を濟まし七日午後歸京したり▲日蓮主義講演會　既報の如く大田倶樂部に於て六日午後八時より朝鮮各地巡錫中なる日蓮宗特派布敎師權僧正頂岳龍觀師の一行を迎へ日蓮主義に關する通俗精神講話會を開きたるが市中有志の傍聽もあり滿場立錐の餘地なき程の盛況にて一同に多大の感動を與へたる由

【全州】

▲全農株式總會　好況裏に上半季を了へたる全州農工銀行にては來る二十一日株主總會を開き斯間に於ける業務の報告及び利益分配並に決算報告等の諸項を議し更に監查役の改選を行ふ筈因に株主配當率は積立金の增加に伴ひ前季同率ならんと▲蒸汽ポンプ購入　全州消防組にては市區の整頓並に消防組織の進展に伴ひ今回蒸汽ポンプ備付の必要を感じ購入方畫策中の處當者元山消防組の協商成り該器一臺讓受け不日到著の筈▲副官、分隊長異動　一般の信望高かりし全州憲兵隊附田副官は去る三十日附を以て大尉に陞進し南原分隊長に補せられ其後任として井邑分隊より丹羽中尉轉任せり井邑には慶北浦項分隊長飯沼中尉南原分隊長たりし林大尉は平北道義州へ轉補さる▲判事の異動　曩に退職せる田所判事の後を享け這般全州支廳上席判事として井邑支廳より轉任せし大友歡次氏著任、同廳豫審判事として其名高き原田等氏は大邱覆審法院に轉じ其後任として仁川支廳より柳原判事轉任せり▲輕鐵又復不通　一時不通となり漸く修理を加へて開通を見たる全北輕鐵は又復三日來の豪雨出水に逢ひ臨益南部水利堤防缺潰の爲め不通となりたるが輕微の被害にて間もなく復舊せり

人事消息

▲閔泳翰男　十二日朝沃川へ
▲本田農學博士（勸業模範場長）　十二日朝入京
▲長澤鼎氏（桑港サンタールツアー實業家）同上　巴城館へ
▲若松兎三郎氏（釜山府尹）　同上
▲東京府荏原郡敎育觀察團一行　十一日夜入京　原金旅館へ
▲杉會計檢査官一行三名　十二日朝元山へ
▲玉城文三郎氏（鋼鐵商會員）▲濱部暉氏（同小倉支店長）　十二日朝入京天眞樓へ
▲藤山雷太公氏（鈴木商會員）　同上
▲松源萬三人氏（橫濱商）▲大曾謙三郎氏（同上）　同上
▲森島猶四郎氏（大邱辯護士）　十二日朝入京不知火へ
▲新田留次郎氏（釜山辯護士）　同上
▲ハリス博士　入京中の所十二日朝東京へ
▲天津支那大學生十一名　職員二名に引率せられ安東縣より來り京城通過十二日朝南京へ向ふ
▲李丙仲總氏（警務總監部會計課長）　滿洲地方警察事務視察の爲め十二日午後九時四十分南大門驛發列車にて北行

口島の巡査生活(五)

暢氣なことも暢氣だが又苦しい話

○○○困るのは病氣のとき 赤坊を薬でゴシ〳〵○○○

一寂寥に馴れて了へば左程でもない不自由も諦めやう次第で我慢も出來る、お茲に何うしても我慢の出來ない事がある――Y警部の話しは愈々出て益々佳境に向ふ――何うしても我慢が出來ぬことゝいふのはそれは病魔に冒された時の事である、人は病の器とやら、平素は鐵のやうな頑健を誇り、少々打ッ叩いた位で死にはせぬと、豪語するほど健康な者でも何時如何なる機會に病氣にとつ付かれぬとも限らぬ、一寸した時にはこんな事では利き目のない急病や重患もある、眞から島生活の不

卵酒や賣藥

◆醫者の代りなら◆で移りもしやうが◆

自由――苦痛を感ずるのはこんな時で、無論醫者は居ないし診察して貰ふ事は出來ず、已むを得ず船を傭つて木浦まで出る事になるのだがその間の辛さ苦しさ、然かも島から木浦まで近くて一日航程、遠いところは二日も三日もかゝるのだから折角木浦に著いた時にはもう手遲れとなりお醫者様に首を捻らせることも尠くないと云ふ、尤も今日まで島に居る中に重患に罹つて命を殞した、といふやうな例はないが

苦い經驗

◆前に述べたやうな苦い經驗を嘗めた人は深川◆

あるやうだ、これに就いて思ひ出すのは筮佐島(?)駐在の某君の妻君がお産をした時のことだ、何れその中に木浦に送り還して好い産婆でもつけて遣らうと思つてゐる中、意外に早く産氣付いた、産婆は居らぬし初めての事だし何して好いか解らないので取敢ず湯でも沸しておかうと釜の下を焚き付ける一方、向ひの島へ急使を立て内地人のお内儀さんを呼にやつた、そのお内儀さんといふのは古くから向ひの島でお百姓をしてゐるのだ、使者の

草鞋履きで

◆自分で走つて行きました◆ ◆山より高く◆

〳〵云ひながら此方の島に渡つて來たが何しろ島から島まで大分の距離があるので、某君の家に著いた時にはもうお産は濟んでゐた、お内儀さんは落膽したが折角來たのだから赤ちやんでも拜見して行かう、といふので何氣なく産室を覗いて見ると驚いた、何れは近所の者であらう薄汚い朝鮮のお婆さんが今生れたばかりの赤ン坊を足か何んぞでも洗ふやうに落居で以つてゴシ〳〵遣つてゐるところ……、お内儀さんは驚くと同時に呆れて言がいへず早速子供を引取つて『人の子』らしい初湯を使はしたさうだが、是なぞ寧ろ滑稽の悲慘とも云ふべきもので、又よく島生活の眞相を現はしてゐると思ふ。

◇東宮靜岡へ

銀製の驅逐艦 模型其他獻上

(神戸川崎造船所より)

東宮殿下には御召艦香取にて供奉艦安藝を從へさせられ十一日午後十二時四十分神戸御著川崎造船所三菱造船所等を御見學の上艦内に御假泊ありたるが川崎造船所よりは驅逐艦疾風の銀製模型を三菱造船所よりは鐵製の浮船渠模型を獻上せり十二日朝七時四十分神戸に御上陸知事師團長以下の奉迎を受けさせられ同八時發御列車に向はせられ八時四十分大阪御通過主なる官民小學校生徒等奉送迎を爲せり(大阪特電)

◉連絡船より投身

九日午後八時三十分釜山港を出帆の關釜連絡船櫻丸が同十時三十分頃同港外五六島附近を航行中三等船客陸奥國二戸郡福岡町生まれ岡部元次郎(三〇)の姿が見えざるより事務員並にボーイ連は總出となり船内を限なく

◉仁川港内船舶被害

十一日の暴風雨

十一日の雨は暴風雨の爲めに仁川方面の海上は非常の大荒れなりしが十一日午前八時頃宮町三十九番地前海岸に繫留しありし百二十石積團平船は波浪の爲めに

▲繫留の綱を斷たれ船體を附近の石垣又は岩角に打ちつけて遂に破壞の上流失し同所に假泊中の朝鮮式帆船三十石積同二十石同七十石の三隻も同樣沈沒の厄に遭ひ稅關棧橋附近の海岸に繫泊中の膠州丸第二號同九號同十號同四號同一號同十六號同十七號同六號同九號同二

十號の九隻は何れもセメント二百樽乃至玄米白米八百叺

▲其他を滿載し居たりしが激浪に繫索されて一時は沈沒を免れざるの危險に瀕し辨天丸其他出動して漸く沈沒を防ぎたるも浸水甚しく浸入して貨物の大半は濡損を蒙り又破壞されたる箇所尠からざる模樣にて目下

▲復舊工事に着手中なり、尚仁川港内外に出漁中の漁船の難破狀況は未だ不明なれ共當日は南風なりしを以て遭難の程度輕微の見込みなりと(仁川)

堆積された朝鮮の古書

尹致昨氏の舊藏書三千餘卷が

廻り廻つて宮内省へお買上げ

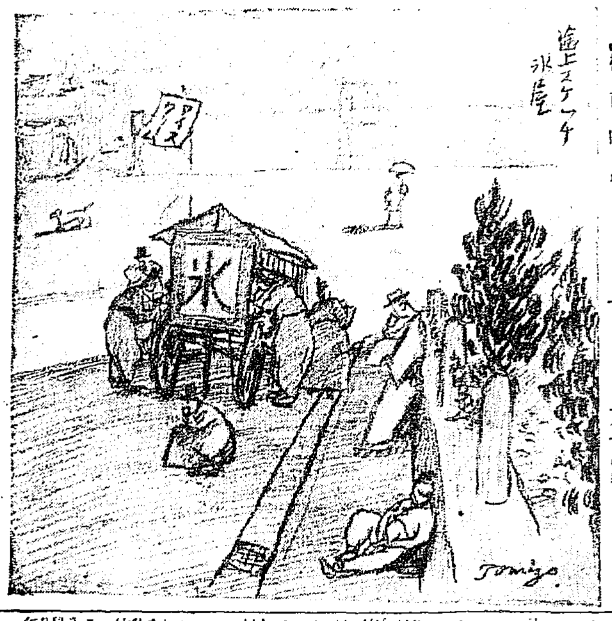
六日の朝從盈となき荷馬車に山と積み上げて宮城に運び入れたものがあつた警戒が嚴重であつた爲に貴重なものとは知られたが品物は數名の省丁によつて階上の樞密顧問官室に運ばれた之れは今度特に宮内省で帝室制度審議會の所用の爲めに、新たに買ひ上げられた

▲朝鮮古來の制度、典禮其他種々の貴重書籍で其の數三千四百餘卷元中樞院參議尹致昨氏が秘藏して居たのが長州の某氏の手に入り更に久原家の手に入る筈であつたのを宮内省圖書寮の主事五味均平氏がフト耳にして今度參考資料に買上げられたのである運搬が濟んで冊數の調査が濟むと宮内省調査課に引渡されたそして此の新來の珍寶を外見丈け にても覗んものと石原次官、伊藤式部次長、近藤總務課長、小原調度頭、馬場内匠頭、股野監田翁、吉田調査課長、御用掛の高島張輔、國府犀東工藤一記氏等凡そ省内の重立つた面々殘らず一時に

▲顧問官室に集まり廣い室に山積した書籍の周圍に雲集して一しきり大に賑つて居た、中から一つ二つは手にも執つて見ると流石は朝鮮李朝五百年の歷史を有し其の以前は三韓時代に至るまで支那文明の一枝流たりし丈けに其の

▲制度典章の文字上に立派なる事は今更に驚くばかり例へば書籍の形丈けを見ても非常に大型のものばかりで其の紙の質の立派な事や製本の頑丈な事や其の中の字體も一字が一寸四方以上のものもあり其の表紙の如きも青、黄、赤、茶、紫等色とり〴〵實に立派なものであるそして何れも木版か、然らざれば肉筆のものばかりで何でも

▲此の目錄を拵へる丈けに六時間かゝり現に此日宮内省では其の目錄に照して現品を一通り讀み合せる丈でさへ三時間かゝつた相だが此の三千何百卷と云ふ多數の中で最珍書と云ふのは『大東典制彙考』と云ふ七十二卷から成るもので之れは今度宮内省へ買上られたために朝鮮に唯一部しか無いと云ふこの本は我國の大寶令の義解位な格に當る(東京)



梅雨晴れ

◉決して樂な稼業ぢや無い

◇◇郵便集配人の暑中の勤勞は何んな風か◇◇

一日六回の集配度數が一回減つた

暑中のためとあつて十一日から各官署の執務時間が例年の通り短縮されると同時に郵便の集配度數の内取集め六回が一回減じて五回になつた、之れは言ふまでもなく暑中のためで

日々九十度

以上の炎天を黑焦になつて走り歩いてる郵便集配人の激しい勞働の幾分が輕減されたものと見てよい、郵便集配人の勤務について京城郵便局に就いて聞いて見ると現在の集配人は百五人で朝六時半に出勤して夜の十一時半頃まで勤めその翌日は朝の八時半に出て午前十一時半に一旦歸り更に夜の八時半に出て

十一時過ぎ

まで勤めるのであるがその勤務は隨分酷いものであるに拘はらず、休暇といつては月に一度位しか無いのである、唯彼等にとつて多少慰安となるのは十五日目に一度位小包配達の任務が廻つて來る事で、此の日は朝の七時に出て夜の七時頃に歸られるのだといふ

十一日から

暑中といふので正午から三時頃まで休息の時間を與へられる、それも局内の控室で休んでゐるだけで歸宅は許されない、それで彼等の受くる手當はと言へば最初日給六十錢から一圓位まで二十年近く勤續してゐる老集配人で一圓十六錢だといふ事である、それでも彼等は

何れも忠實

にその職に從がつてゐて不平を唱へる者は滅多に無いさうだ、然して配達回數が減じたと言つても、比較的郵便物の尠ない時刻に於いて減じたので一般には大した不便は無いさうである

◉大相撲安東縣乘込

東京大相撲太刀山一行百三十名は十一日午後七時三十分著列車にて鎭南浦より安東縣へ乘込み來れるが停車場には相撲關係者有志各料理店の紅裙連等多數の出迎へありて雜沓を極めたり當地興行は十二日より二日間にして前人氣沸くが如し(安東縣特電)

◉若い女を囮に

京城本町四丁目百五番地宇佐美某長女みよ(一七)は櫻井町一丁目今尾倉方雇人荻原某なるものと情を通じゐたるが張は此女を囮にして一仕事せんと友達なる若草町百六番地赤尾古物商方雇人金賛國(二五)が同家に宿泊し居る中山太一所持の金側懷中時計一個此の價格金五十餘圓のもの及び現金六十圓入りの財布を窃取せることを知り金賛國を唆かして情婦ミヨと馴合の上金と情を通せしめ窃取せる金品を落籍せしめたることを本町署の阪本刑事が探知し逮捕の上取調中なりしが十二日金賛國、張秦源の兩人は檢事局へ送られたり

讀者文藝

(一等に五十錢 切手券を呈す)

▲下旬付『番人は』

○番人は一升下戶の左利き(一等) 元山城洞六 内山溪思

無愛想なる人なり 鰲學 梓波

風盜賊と共謀になり 仁川 鶴 碩 倉

課題及募集規定は欄外にあり

◉女兒屍體漂著

十二日午前八時より龍智洞百八十六統李秉承方前の河流船橋河岸に死後二日を經過せる鮮人女兒の屍體漂著したるが死後遺棄せしものならんと

時ど心

▲某ドクトルの話に犬を可愛がる婦人千人中九百四十人迄が不妊症に罹つて居る▲これは子供が無い處から自然其の愛が犬に傾いて行くのであらうと思はれるが決してさうばかりではない▲其の九百四十人の内の五百二十人迄は處女時代から既に犬を熱愛して居つたといふ事實が有るから實に不思議ではないか▲猶茲に注意すべき事は犬を熱愛する夫婦間に生れた子供の多くは夭折するかそれでなければ虛弱か或は低腦な例が多いやうである▲犬と飲食器及び寢所を共にしたり接吻するといふやうな事は單に其の人の生活趣味が人間以下に墮落したといふばかりでなく衞生上甚だしき害を爲すものであらうと思ふ私は更に研究の歩を進めて女と犬との關係に就て衞生上私が豫期して居る如うな事實を發見したいと考へて居る……と▲京城郵便局の最近調べた京城の電話加入者は内地人二千五百六十一人朝鮮人四百二十一人外國人七十六名計三千五十八人だが▲此の加入者が平均一日に通話を交換する度數は市内四萬八千市外千八百五十で一人一日の平均は十四度に當つてゐる▲此の通話を取扱ふ交換手の數は市内二十三人市外八人といふ割合ださうな▲之れを交換手一人宛にすると市内が八百六十九度で市外が二百三十一度に當る此の暑中二千度近くの交換に汗水を流す此頃の交換手も中々樂では無い

◉崖崩れて家屋河中に墜つ

京城豪雨被害

▲十一日の豪雨にて午後四時頃京城孝子洞二十統裏の長さ三間、幅三尺の石垣崩壞し其上に建てありし同地無職孫昌洙の家屋河中に墜落して全壞したるも人命に損傷なく此の被害約四百圓なりと▲十一日午後三時頃大雨の爲め京城勸農洞七十七統李定善方の家屋全壞したり此の損害百八十餘圓

◉赤痢と腸窒扶斯

江原道金化院へ收容せられたるを以て十二日該寄宿舍に嚴重なる消毒を施したり 次に秋田縣秋田市□□□□□□□□□□□ 入舍住秋田縣秋田市…(以下判讀困難)

◉連絡船上陸客

十一日午前八時五十五分釜山入港さくら丸二二

隈、街木營三郎、李自赫、渡邊柳、笹江二、同き、み同直禮、前田文之助、五味良三、松下甕一、外山八代吉、岡田三枝、同みつ、立野金次、相良きく、同とし、同磯…、岡田正太郎、同みき

二等二十五…大野榮太郎、三浦富三、小花監、青島一、堀みさほ、野口とし、永井喚治、同とめ、熊谷品四、小林傳三郎、安川榮三、鬼頭正子、同博實、片岡業愈、大坪純、岡田傳次郎、小谷精

◉課題及募集規定

◉募集規程 ▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲締切は課題の翌日

▲課題『…』

天氣 ▲七月十三日(十二日午後六時發) 曇り時々晴れ

日出 五時二十二分 日沒 七時五十六分

仁川 滿潮 午前十一時四十七分 午後十一時二十三分

商況

◉京東債券現物特電

(十二日前場)

東京五分利	八三、八〇
東洋拓殖	五六、五〇
京城電氣	一八、五〇
朝鮮銀行	一四五、〇〇
南滿鐵道	一四五、二〇

◉東京公債直取引

(十二日大引)

甲號五分利	九五、四〇
五分四分利公債	—
二回四分	—
一回四分	—
甲號五分	九五、二〇

◉深川在米特電

(十二日現在高)

内地米	六五、二三二
臺灣米	二八、二六九
外國米	一、六七四三〇一

◉東京期米特電

(十二日前場)

	寄付	高値	安値	止め
八月限	二四、五五	二四、七二	二四、四九	二四、九二

◉大阪株式

(十二日前引)

株類	約込	前日	十二日
宇治川水	五〇、〇〇		
京阪電鐵	五〇、〇〇	三三、五〇	
東洋紡績	五〇、〇〇		
合同紡績	五〇、〇〇		
鐘淵紡績	五〇、〇〇		
同上新株	五〇、〇〇		
東洋精糖	五〇、〇〇		
大阪商船	五〇、〇〇		
日本郵船	五〇、〇〇		
同上新株	五〇、〇〇		
堂島米穀	五〇、〇〇		
東京新株	五〇、〇〇		
大阪株式	五〇、〇〇		

◉大阪三品特電

(十一日後場)

七月限	三六、九〇
八月限	三六、六〇
九月限	三五、二〇
十月限	三四、七〇
十一月限	三四、五〇
十二月限	三四、八〇

◉大阪期米特電

(十二日前場)

高値寄付	二三、三九
中限寄付	二三、九一
先限寄付	二四、七五

◉下關期米特電

(十二日前場) 明正期米高値

	高限	中限	先限
寄付	三三、三〇	三三、〇〇	三三、〇〇
安値	三三、二六	三三、一〇	三三、〇〇
止め			

雜報

◉綿絲更に新値

綿絲十一日一舉五十圓臺の新高値を出し前日比一圓以上の高値にて以後場中堅筋の買乘せ猛烈となり三品當限は遂に三百六十九圓二十五錢高に比し又午前中にて百二十九圓なる値を出し綿絲

◉銀大豆破記錄

十一日午後大連市場銀相場は更に騰貴して金票換算前日の一圓五十六錢と立ち値上りの百二十六圓四十五錢と出で二十五日の最高値を拔く

九十錢なり大豆又騰貴

◉北海色豆崩落

一百二十丁方の下

◉植物油と粕

十錢方の値上

五十丁落

◉水密桃と諸果

胡麻

荏子油

下關相場

◉棒鐵更に暴騰

前途輸入の困難

思惑日々熾烈を加へ十圓方の暴騰

◉金物材昂騰

洋釘は五十錢高

亞鉛線は一圓方

昂騰の平板三圓八十錢

◉精白米値上げ

◉三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話二一、二二、一四一 振替口座京城四〇二

困難なる原料の買附は一般賣買の協定卸値段二十一圓八十錢一石に付五

◉京城正米

大正元年度の最高値を破る

突進買ひ各手筋一齊

大口取引五千六百

南大門の廻穀

殆ど亂調に等しく約三十錢高

釜山穀物(十一日)

生魚市場

仁川期米

▲十二日前場(新高值示現)

晴天大阪天候高の入電十七錢

先二十圓六十錢高に

十錢と最新高値七

一沸騰依然强硬

◉仲買店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町

市場雜聞

▲新高値示現

强硬に又復三四十錢高

正米界の依然

多く値頃觀の賣物

▲依然强硬

遂に空前の新高値を示現

中先の大騰を利用して賣り壓へ

▲大商盛渡

少々濁り多し

▲正米情勢

錢六十錢見當で內地正米の如き十九圓三四十錢

在米は大に減少

仁川米豆取引所

十一日の九月限

前場		後場	
寄付	二十一圓六十三錢	一節	二十一圓六十二錢
止め	二十一圓七十三錢	二節	二十一圓六十二錢
高値	二十一圓六十錢	三節	二十一圓四十錢
安値	二十一圓七十錢	四節	二十一圓二十錢
出來高	六萬四千石	五節	二十一圓四十錢

◉田中金物店 電話長一六五二八番

◆南北兩軍萬庄附近に於ける戰鬪 討逆軍總司令段祺瑞氏は張勳氏の復辟に反對して所謂の第八師團長李長泰氏の部下約五千五百を以て北京に向ひ進撃し張勳氏の定武軍之れに應戰の爲め五日午前一時北京より萬庄(北京天津間の)に到り直に鐵道を破壞し急遽に新壕を修築して對抗せしが六日午前五時兩軍衝突の結果張軍は敗れて安定庄に退却せり。寫眞(上)は移轉中に於ける北京軍にして(下)は陣中に於ける段軍砲兵活動の光景なり(北京)

◉復辟派一敗地に塗れたる郎坊の戰闘實見談

□□整々堂々の段軍□□
□□個々に猛勇の張軍□□

北支駐屯軍の歩兵一中隊機關銃一小隊及び米國兵一中隊佛國安南兵三十名英國將校二名及び伊太利公使を伴ひ五日午後五時天津を發し北京應援に赴きたる星村少佐の語る處に由れば同日午後八時頃なりき郎坊に著したるに段芝貴の軍隊が全部集合し萬莊には張勳兵の司令部あり即ち

□□段張兩軍は郎坊□□

萬莊に於て相對時し居たり兩軍近く相對時し殊に夜間故勝手に前進することを得ず夜の明くるを待ち戰鬪行爲を止めしめて進む決心にて車中に夜を明かせり然るに午前四時半より段軍は攻擊を開始せり攻擊の部署を見るに郎坊の西側には野砲六門東側に砲兵四門道路を中にして左右に砲兵陣地を設けたるが一部を鐵道線の西側より主力を以て東北側より攻擊し四十分間ばかり盛に相對戰せれば其中張勳兵は退却せり後にて見れば萬莊停車場に張軍の砲兵陣地あり段軍方にも

□□砲彈は落下せり□□

張軍退却すれば段軍は追擊し張軍は其日豐臺に退却段軍は安定迄前進し安定の線を占領せり予等は朝來鐵道を修理せんとしたが戰鬪中故之を急に中止せしめる譯に行かず暫く觀戰し居たるが既に段軍追擊して安定に進みたる故段芝貴に談判し予は列車を指揮し日本の國旗五六本を列車の前後に樹て戰鬪中を突き切りて進み破壞された鐵道

□□線路は日本軍の□□

手にて修理せんとせしが段軍全力を擧げて大に盡力し直ちに修理を終りたり猶張軍を突切り其夜八時永定門に來たりしが張兵は拒んで入れず談判の末漸く六日夜十一時入京せり兩軍の衝突は午前四時半より四十分間

□□主力の衝突にて□□

頗る激しかりしが其後張兵は退却し段軍は追擊戰に移れる者なるが段軍の云ふ所に據れば此時段軍の死傷は三十名張軍側は凡そ二百名以上ならんとの事なり張軍の捕虜十五六名あり又段軍は郎坊に駐せる李長泰の第八師の一旅と楊村附近の兵とを集合し段芝貴自ら指揮を爲し參謀長は曲同豐にて其部下の將校には日本留學出身者多く砲擊より散兵小銃機關銃進擊集合更に追擊隊に從つて前進す其の

□□行動は中々立派□□

なりし之に反して張勳軍は個人個人の蠻勇には富み居たらんも軍隊としての戰鬪には適せず十分なる指揮者なく號令行はれず一方破るれば全體ワイワイ退却する始末にて殆ど段軍に對して比較す可くもあらず(北京)

◇忠南苧布

韓山苧の來歷

斯くて韓山苧布は獨り名聲を全國に擅にし得意の絶頂に達せる時、突如として一大勁敵の現はれ來るあり之れを支那麻布となす蓋し朝鮮は高麗朝時代に於ては全く支那との互市を嚴禁せるものにして李朝太宗に至り始めて貿易所を鏡城及び慶源に開き仁祖に至り鴨綠中江の市を年二回に限りて開きたりしも其の當時は支那内地の交通極めて不便なりしが爲め南方の物貨は遠く北方に來らず苧布麻布の如きは却て朝鮮より

◆支那北部に輸出 せしものなり然るに一面には海陸交通機關の發達せるあり一面には大院君鎖國政策の破るゝありて二十年前より支那苧麻布の侵入を見るに至り其價低廉にして能く時代の要求に應せるが爲め忽にして到る處朝鮮の苧麻布を驅逐し最近に至りては其の輸入額實に百五六十萬圓の多きに達するに至れり而も多年全盛の地位に安んじ又嘗て外敵に接したる事なき韓山苧布は俄に此の勁敵に遭遇して全く策の施すべきを知らず上下を擧げて自然の趨勢に放任せるが爲め忽にして孤城落日の悲境に陷り七八年前に於ては其の年產額僅かに八九萬圓に過ぎず品質も亦雜駁となりて益々其の聲價を損するに至れり然るに物窮すれば則ち通ず韓國一たび我保護國となり統監府を設置せらるゝに及び

◆韓山苧布の復興 は大に當局の重視する所となり統監府の奬勵買上技術家の派遣及び機織具の給與等之が保護獎勵に著手せられたるも未だ幾ならずして併合となるに至れり併合後に於ては深く產地の狀態に鑑み地方費及び恩賜授產費の事業として道技手の外に技術員三名を常置し之が生產費の節減を圖らむが爲には整經器緯卷器を給與して其の使用法を教授し之が品質の改良を圖らむが爲には紡織及び漂白の實地指導を行ひ之が產額の增加を圖らむが爲には織機具を給與し且つ原料購入資金の利子を補助し之に廉價なる原料を供給せしめむが爲には本道產地の金融組合をして苧麻生產地の金融組合と契約を結びて一手購入を爲し尙苧布の販路の擴張を圖らむが爲には

◆地方金融組合を して委託販賣を行はしむる等頗る奬勵に力むる所ありたり如上各種の施設の中には時々失敗を免れざるものありしと雖も而も其の失敗は必ずや何等かの新生面を開かずんば已まず大正三年九月生產地各郡に當業者を以て組織せる苧布組合を設置し原料の供給尺幅の一定及び品質の改良を圖ると共に生產品の檢査を行はしめ又其の組合を以て組織せる聯合會を置き之が統一を圖ると共に製作の試驗及び販路の調査を行ふ事とし鮮人向き製品を主とし尙其の外内地人向きとして蚊帳座布團洋服地染絣袴地等の製織を試みたりしに内地商人よりも試買申込を爲す者漸く多く斯くして頽勢挽回の曙光を認め既報の如く數回の榮譽を荷ふに至り目下製織從業者三萬人を越ね其の產額も亦十七萬疋價格七十萬圓に達するに至りたるのみならず其の製品は殆ど尺幅の一定せるものにして併合以前に於けるが如き雜駁のものを混せざるに至りしは全く當局官憲の指導宜しきを得し結果にして其の苦心の跡や察すべく其の功や大なりと謂つべし(終)

◉整頓せる青島の市街

◇◇上海は最初の上陸地だけに印象が深い◇◇

入京せる各小學校長觀察團

滿洲各地視察中なりし東京府下荏原郡各小學校長の觀察團は十一日夜入京せり、團長松原一彦氏の談に曰く

現代の教育は現代を基礎として取り掛らなければならぬ、そして海の外から我が日本を見たらば國民教育に資すべき者も多々あらう、其教育上の總ての資料を得て國民教育に資する爲めに

◆海外を視察 して見たい

といふ見地から成り立つた東京府下荏原郡各小學校長の視察團は去月十四日東京驛を出發して神戸から春日丸で上海に直航した、上海は最初の上陸地とて中々印象が深い、南京から津浦線で天津に一泊し北京では

◆駐屯軍營に 二泊した、著いた晩林公使の晩餐會に招かれたが恰も故郷に歸つた樣の思ひをした、夫れから濟南に一泊し、林領事及び大聞知日本人會長主催の晩餐會に臨み翌日青島に向つた、茲に五日間滯在した、青島は獨逸が近世學術を應用して上水に下水に植林や道路建築等の整頓した點は遠く歐洲に行かなくとも

◆茲で大體を 見る事が出來ると思ふ竹内軍政署長官は一行の爲めに午餐會を開かれあらゆる便宜を與へられた、二日共同丸で大連に著いた、旅順から奉天を經て八日哈爾賓に著いた、手入れもせぬ

◆公園の樹木 切石を敷いた大通りや田の樣な道路、飾りの無い屋敷、總てが粗大である、同夜佐藤總領事の茶話會があつたが夜間は時々無警察の有樣が演出されるとの事で不安心であつた、撫順を見學して京城に著いた二泊の上十六日歸東の豫定である尙

◆一行の健康 狀態頗るよろしく、又上海、大連、旅順、撫順の官民諸氏は晩餐會を開き一行を慰さめ一方ならぬ便宜を計られたのは感謝に堪へぬ次第である

◎滿鮮演奏旅行團 京都同志社大學グリークラブ滿鮮演奏旅行團一行六名は十一日午前入港さくら丸にて來釜同夜十一時釜山驛發北行列車にて京城に向ひたるが一行は左の如し(釜山)

ファーストテナー(山下正)セカンドテナー(原忠雄)ファーストベース(平田雷)セカンドベース(小島醇)アツカムパニスト(大中寅二)ソロイスト(堀内清)

◇田部分析所開設 田部秀治氏は今回市内明治町二丁目七六番地に設備完備せる分析所を設け優秀なる技術にて爾ち各種鑛物の定量分析に應ず

渚の砂

▣大馬鹿大盡●●●● 株で何萬とか儲けし伊勢國津市の小成金某は何か奇抜な遊興をと心掛け二藝妓に多額の圓頭みを與へ丹頂を赤黑く黃白に彩らせ車夫に男裝させた後め競走さる

▣僞大尉豪遊●●●● 〔illegible〕の料亭『春の日』へ揚りし客は鐵路大尉の松原といふものなりと自稱し一週間夜の〔illegible〕

▣興行破收讀●●●● [illegible]

▣法曹界新話●●●● [illegible]

▣新手の詐騙●●●● [illegible]

▣紙幣の低落●●●● 支那の紙幣は下る一方に [illegible]

▣醫院辨當代●●●● [illegible]

▣巡査の指給●●●● [illegible]

○日蓮宗の盂蘭盆會 京城旭町三丁目〔illegible〕にては例年の通り十三日より十五日まで盂蘭盆會を催し十五日は午後三時より法界大施餓鬼あり夜十時より漢江にて川施餓鬼精靈流しある由

(旅客)十一日午後九時四十五分釜山入港壹岐丸一二等客 一等(五名)左納榮三郎、英國人イー、ツローエル、露國人ヒー、クルニツク、同アール、ジローセ、同イー、ヘレボガン

二等(三十八名)寺永平、同ころ、同ふじゑ、同文人、同よし、田中しな、同あさ、増見球雄、小林定、市川つる、水野ますゑ、同半一、同はるみ、高畑金五郎、田中菊次郎、銭行清太郎、櫻井菊之吉、何氏満〔illegible〕白國人ヒーランド

◆警戒を解除(釜山) 江原道慶尙南北道沿岸の警戒を解〔illegible〕

演藝案内

△川上〔illegible〕「東〔illegible〕」同十五日 同十六日
△錦〔illegible〕香入と掛けて 同十七日 同十八日
△一口噺「其時々の事」同十八日 同十九日
△下駄仕(仲直り)同十九日 同二十日

有樂館 直營 早川演藝部 電話(階上)四九七番(階下)二〇五番
十二日より四日間公開日延なし
英國大文豪沙翁晩年の大著作 世界的名優ハーバート、ツリー卿の演じたる傑作
▲世界一の文藝史劇『マクベス』九卷
説明者 有樂館主任 早川演藝部 黒澤松翠 南部公利 久世春
◆活動之世界曰く「名優出演の活動寫眞は必ずしも成功したものはない様だが此のマクベスは何れの場面に於ても成功したもの」…
△コンドンにて最低二十弗、東京帝劇にて五圓の觀覽料を以て公開せる文藝大寫眞を早川演藝部は僅々五十錢で提供す
△每日晝夜二回晝午後一時より夜午後七時より
△觀覽料一等二圓、二等一圓、三等五十錢
△京城日報每日申報讀者優待券御持參の御方に限り特別割引一等一圓二等六十錢三等三十錢
△本興行に限り普通招待券及入場券御斷り但し御同伴十二歳以下の小供衆の入場は御斷り

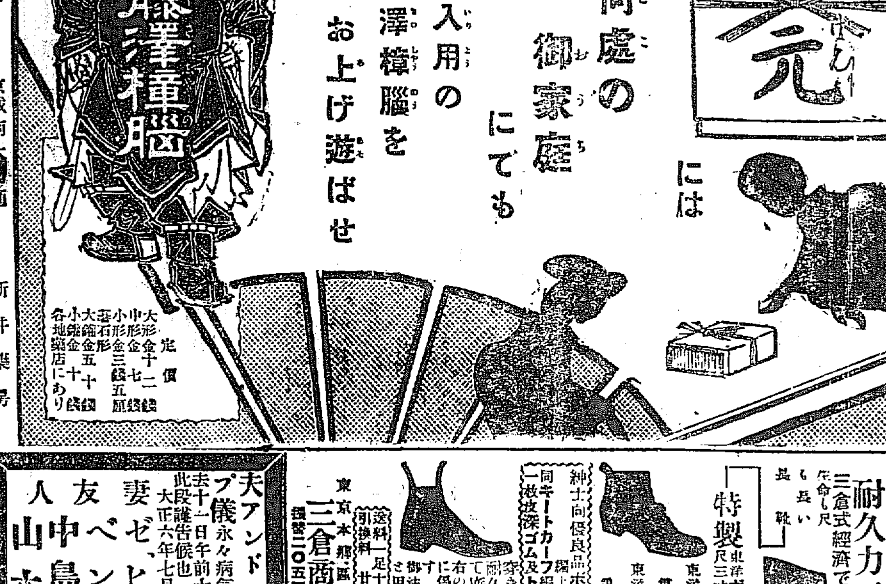
京城壽町 壽館 電話一〇五〇三
二代目桃中軒雲右衞門一行
七月九日より每日午後六時開演
五日の讀物 ▲義烈百傑 ▲關東長脇差 ▲御三家三勇士 ▲惡七兵衞景清 ▲豐川利生記 ▲水府義士伊藤孫兵衞 ○安兵衞婚入

櫻井町 大正館 電話八七三
七月九日より特別興行
○滑稽活劇『マベルの勇氣』〔illegible〕△米國キーストン會社作 ○新派悲劇『罪の子』全四卷 ○舊劇『稻葉太郎鬼門』全五卷 △『嵐』全五卷〔illegible〕
(入場料一等六十錢二等四十錢三等廿錢 軍人學生小供半額)
▽京城日報讀者は特に割引仕候
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

明治町 浪花館 電話二六〇
浪界明星 京山若國、原晴夢合同
七月七日午後七時より開演
演題 ▲寛永勇士揃(京山若子) ▲東の花義經 ▲柳生旅日記(原晴二) ▲雪の曙本傳播州皿屋敷(晴夢)
▲動功記(若國)

黄金館 電話一二六七 六五三
〔illegible〕
▲入場料は晝夜三等十錢二等廿錢

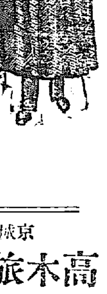
稻荷座 本町五丁目
○竹川馬生一行 毎夜引續き開演
▲七月十日より 寶入船(竹川小春) ▲德川五郎藏 ▲(素人謠)右衞門 ▲玄海の浮雲(廣澤) ▲關取千兩幟(藤川条春) ▲太功記木下藤吉郎生立より ▲古代忠臣録(竹川馬生)
▲入場料大勉強金十五錢均一 △毎夜午後七時開演



代理店 京城南大門通 新井藥房

資本金參百萬圓
明治卅八年十三年設立
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城府南大門通一丁目十四番地
株式會社 漢城銀行
長 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
電話 六四六番 二二三九番 振替京城二二〇五番
支店所在地 水原、平壤、大田、開城
出張所所在地 南大門、鍾路、東幕

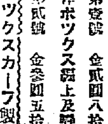
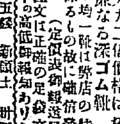
好評嘖々たる携帯用
商工業者の羅針盤
大阪仕入案内
仕入商人の好伴侶
第十年七月號出づ
■大阪仕入案内■
▲附錄汽車旅行案内 ▲大阪地圖添
定價一部十五錢(稅共)一年分前金八十五錢
大阪物價新聞(雜物號)
▲本紙には確實なる現金問屋の物價を網羅せり
(毎月二回發行)一年分前金八十錢 稅共
大阪西區阿波堀通四丁目 大阪仕入案内社 振替大阪一四三六七番

旅行用具一切
□柳製專賣品トランク
□雨合羽防水布引マント 雨合羽地もあり
□魔法瓶及中瓶取替
□蛇ノ目雨傘番傘小供學校行傘

京城本町一丁目
高木旅行用具店
電話一三四番

眼科專門
入院隨意
京城明治町東拓横(電話二〇四四番)
江頭眼科醫院
日曜祭日午後二時迄
江頭富雄

大アンドレー、ヒーリップ儀永々病氣之處養生不相叶去十一日午前十一時永眠仕候間此段謹告候也
大正六年七月十二日
妻 ゼ、ヒーリップ
友 ベンネット
中島清一郎
人 山本勝三

三倉式經濟で優美價値至廉
耐久力二倍の靴
壽命も尺も長い

特製長靴 尺三寸迄 東洋ボックス 五圓
東洋ボックス短靴 第壹號 金貳圓八拾錢
東洋ボックス編上及半長 第貳號 金參圓五拾錢

紳士向優良品ボックスカーフ製 編上及深ゴム 金四圓
同キートカーフ編上深ゴム 金五圓
一枚皮深ゴム及トンビ形深上靴五十錢增
穿き工合よく堅牢しく耐久力二倍價格は極めて廉なる深ゴム靴
右の均一靴は弊店の特製品に係るものゝ故に確信發賣す
御注文は正確の足の寸法、甲の高低御報知ありたし

送料一足十五錢 引換料廿五錢 新領土卅錢 引換料四十錢
東京本郷區東片町九二
三倉商會高等靴店
振替二〇五三九・電話下谷一九七四番

香り床しき
美髮となる
金鈴香水
金鈴香油

朝日
大阪安島米穀取引所仲買人
曾我商店

商業登記公告

商號新設 京城製油所、營業ノ種類 製油製造販賣、營業所 京城府南米倉町七拾五番地、商號使用者ノ氏名住所 京城府武丁目參拾番地 渡邊文治

商號新設 旭皮革製造所、營業ノ種類 皮革製造販賣、營業所 京城府旭町三丁目參拾番地、商號使用者ノ氏名住所 黒田七拾番地 商陽部文治

株式會社京城興業株式會社ハ大正六年七月日各株ニ付金五圓宛拂込ヲ請求シ不二京城府旭町三丁目參拾番地 ノ拂込金額ヲ金壹百圓ト變更シタ

右大正六年七月六日登記

朝鮮農業株式會社監査役林衡采及宋鍾憲ハ任期滿了ノ處大正六年六月貳拾八日重任シ左記ノ者監査役ニ當選同日就任シタリ
京城府花洞七拾壹番地 金永杰

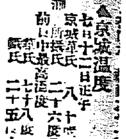
右大正六年七月七日登記

商號新設 天金、營業ノ種類 飲食店、營業所 京城府南大門通三丁目貳拾壹番地、商號使用者ノ氏名住所 同所 田中吉次郎

右大正六年七月九日登記

京城地方法院

◆京城温度 七月十二日正午 京城府 最高温度八十二度 最低〔illegible〕

豫報


◇新聞讀者懸賞 何書何號と明記に限る △宛名は京城日報編輯局懸賞文係 〔illegible〕締切後一週間以内に到着の〔illegible〕には五十錢の賞品を呈す

明君道中記

第二百四席 田邊南龍口演

松平長七郎は宅兵衞字平次三次おその等を伴れて清水觀音へ參詣をいたし途中に於て食事をいたしおそのは女のことではあるし物珍しいから觀音の境内に出て居る諸下師なぞを見て喜んで居ります、長七郎「長『さアその參らう」と觀音の境内を出ますと何にいたせ御命日のことであるから參詣人は夥しうございます、處へ向ふから駒勇、長吉といふ角力取が二三人の取てきを伴れ酒の醉態か往來の女共に戯雀キャツ/\と騷いで參りました、木鼠三次が酔て居ろ行違ふ途端に駒勇にドン衝當つた 駒『ヤイ野郎何で衝當る氣を付けろ 三『此の生れぞくねめ人を見ぞくなやアがつたか、汝の方から衝當つて咎める奴があるか 駒『何ちやと野郎、天下の力士に對つてしやら臭いことを吐しやアがる、文句を云ふと撲殺すぞ 三『何を生意氣なことを 三次は素より氣早の男突如拳を固めて駒勇の面を撲つた 駒『汝打ちやアがつたな、野郎共此奴を撲つてしまへ」立て見て居た取てきがこそ/\三次を取巻て打つてかゝる、三次は捉つては敵はないから彼方此方と身を變して居る處へ飛んで來た三宅宅兵衞 宅『コレ/\三次、貴樣が惡い詫てしまへ 三『先方から喧嘩を賣るのだから買はたくッちやア男が立ねゑ 宅『イヤ關取衆此の男は俺の同伴じやが醉て居るから勘辨して遣つてくれ 駒『同伴でありやア逃さねゑ此奴も與に』と撲つてかゝる故に宅兵衞は詮方なく打て來る二三人の取てきを其處へ投付した、是を見るより駒勇、長吉脇差を脱いて斬込んで來た、宅兵衞は素より腕に覺はある投合して斬結るは無雜作ではあるが多勢の締たる角力取新も大人氣ないと腰ひやとすあしらつて居まする往來の者は是を見るよりソレ喧嘩人殺しだと騷立る女子供は泣喚と云ふ大騷ぎでございます處へ時機よく二條所司代板倉周防守の手附役人四人其處へ來蒐つて 役『白晝劍戟を奮つて狼藉を働くと免さぬぞ、片端より召捕てしまへ」と役人が立かゝつて駒勇を始め角力取を取て押へ、宅兵衞に對ひ 役『見れば御自分は帶刀の身分ではないか何故斯樣なことをなさる」其處へ長七郎がお出なされ 長『ゐゝコレ其方共は板倉周防の家來であるか、双方に怪我を無い樣子である其の角力取を助けて遣はせ 役『其方は何んで 長『予は松平長七郎である」聞いて役人が姿を見れば葵御紋の衣類に葵紋散しの大小を帶び自然と備はる權威驚いた役人共はアッと其處へ兩手を揆へ 役『是は尊き御方樣とも辨へず御不禮をいたしましたが平に御免し下さる樣、幸ひ主人周防も在京にございますれば我々是れより御案內をいたします故二條へ御出を願ひたう存じます 長『イヤ/\折角ではあるが城內へ參るは廢さう 役『然て當時は何處に御宿を 長『三條小橋の小紅屋助四郎方に滯在致居る其方共立歸つて周防に此の事を云ふてはならんぞ 役『畏り奉る」駒勇を始め四人の角力取を引立て役人は二條へ引返しました、長七郎は一同を伴れて小紅屋へお歸りになる

暫時すると主助四郎が長七郎の座敷に參り 助『申上げます 長『亭主何むや 助『只今二條御城內より板倉樣の御家來御家老の板倉喜兵衞樣といふ方がお出になりまして御目通りを願ひたいと申します 長『何に板倉より使が參つたと 助『ヘエ 長『然らば此方へ案內をいたせ」と仰せられました

お盆が來ました
御進物用 花菓子 色々取揃あります
千利堂 南大門店 電話二七一 本町支店 電話二九三〇

チヾミ メリヤス 夏シャツ クレープ
鈴木支店 京城本町一 電一八七二番

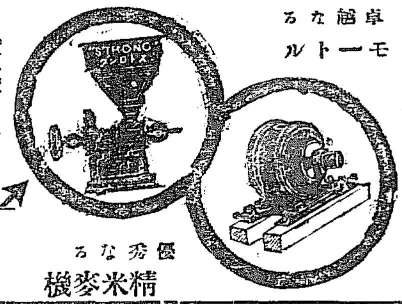
外科 花柳病 ひふ病
牧醫院 京城旭町一丁目(三) 更科本店裏

●マラリアに一番 ヨクキクスリハ
龍山林藥房製劑の マラリヤ特効丸
價 金十錢三十錢五十錢 郵稅二錢 ニセモノアリ御注意
本舖 龍山 林藥房
代理店 京城本町二丁目 山岸天祐堂

ハーニサック 特製品
A 十個四十錢 B 十個六十錢 圓形一個廿五錢 女用一個八十錢 月經帶一個七十五錢 代用一個
廿個以上一割引 郵送料增要 振替京城三三二七番
京城黄金町三 山田文殊堂藥房

七月十四日 西 五月廿六日 丁巳 本命 一白 北 閉 赤口

△一白● あと先不見の事有日新事見合 西方は吉 △二黑● 好ましからぬ事有日 新事手控爲吉 事は吉買物に用心せらべし △三碧● 有家の日 轉居入學行 商名弘求 職御上金談婚禮 貴金關業等萬吉 △四綠● 諸よき日 轉居 開業 入學出 漁求 職造 新婚 醉水利 服用藥等 萬吉 △五黄● 不快の事有日新事手控恐事は吉 女子は行儀を守るべし △六白● 利をメる日 轉居入學 金談 探鐵山 酒名 弘婚證定期談等萬吉 △七赤● 歡よき日 轉居開業 入門名弘求 職御上婚禮大なる金融を計る等萬吉 △八白● 勞のつかれ事有日新事手控藥事應諾は勘なし △九紫● 睦合になる事有日新事手控 藥事は吉 蓮て爭を掘る勿れ



二百五十圓の資を投じ一ケ月 百五十圓の純益を得る ストロング

丁寧に依りて賣るは 大製造所は名に依りて賣り
●先づ事業の目論見書を要求せよ!! 無代呈す
東京電機株式會社特約品
東京下谷仲御徒町一丁目(電停前)
發賣元 合資會社 倉橋商會 電話下谷四八四九番 振替東京二七一七〇

寫眞
寫眞出張撮影 寫眞銅版 亞鉛版
最も熟練せる技術なれば最も廉價に迅速と可確懇切を旨とし御急需に可應候
京城日報社 寫眞製版部

あざ そばかす ほくろ イレズミ
●全治して再び醜狀が出ぬ如く治院す
拾數圓ばハ手になる今なを藥界界に名醫有賀軍一等軍醫醫學博士先生が數年間苦心研究の結果藥をつけた結が人に知れずに決して害なく不思議にヨクキク信用と責任ある藥を創見致しました是迄種々な法や無責任な賣藥で治療しても効無きお困りの人も役に立はず一日も早く三錢切手封入「東京府下澁谷町柏木百二十番地東京博愛醫院」宛にて申込めば詳細書、安全に治療の出來る自宅療法の本を無代進呈す

吸入瓦斯機買入 吸入瓦斯中古機
十馬力乃至十五馬力の一臺買入れ度し放賣希望の方は下名へ御通知を乞ふ
忠南大田 大田皮革株式會社內 本間巽

▲山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢
京城太平通 京城日報社代理部 振替三〇〇番

下山藥學博士、慶松藥學博士證明、田中醫學博士實驗、朝比奈藥學博士、岩川醫學博士驗定
徐川醫學博士、加藤獨國醫學士、山田獨國醫學士實驗の結果理想的內服治淋劑と確定せる

淋病新藥 ツヨール

◎到處藥舖に販賣
發賣元 東京日本橋區川瀨石町 ツヨール商會
全國一手販賣 大阪道修町三丁目 田邊五兵衞
▲本品は殺菌力を有し且絶對に胃腸を害せず
■膀胱カタル尿道炎、睾丸炎、腎臓炎、消渴等其他一般急性慢性淋病に偉効を奏す。
三十粒入五十五錢、五十粒入九十錢、百粒入一圓六十錢
▲說明書無料贈呈す

面白い懸賞難題

問題
片假名三字を綴ると或る鳥の名となりますが其中の一字を除れば人體の或る一部の名となり、下の一字を除くと刀劍に附屬する物の名となります。其鳥の名が分ると、それは丹平商會發賣の有名な香水洗粉、齒磨の名が自然に解ります其の三つの名を答へて下さい。

▲募應規定▼
■葉書一人一枚に限る事。
■住所氏名を明記し宛名は「大阪心齋橋丹平商會懸賞係」と記す事
■解答は(一)○○○(二)○○(三)○○と記し、見た新聞名を記せよ
■締切來る七月二十日限
■八月中旬問題掲載の新聞紙上に發表す。
■問合は往復ハガキの事、三等當選者は他敷に付賞品發送を以て當選の證とす

▲賞品▼
一等 銀側腕卷時計 五個(但一人壹個宛五名)
二等 ツバメ香水(中瓶)拾本(但一人一瓶宛十名)
三等 ツバメ齒磨(袋入)千個(但一人一袋宛壹千名)
審査は大阪日刊各新聞社員の立會を乞ひ正解者の中より公平なる抽籤を行ひ如上當選者に限り進呈す

一滴千金の氣高い馨!!
御愛用の季節來る!!

ツバメ香水

■天然產名花の精のみを精製して絶對に不純物を雜へず。
■高尙優雅にして厭味なき床しき芳香は永久に愛用せらる。
■氣品高きツバメ香水の愛用者は交際場裡の勝利者なり。
東京 大阪 丹平商會
全國化粧品店雜貨店に取次販賣せり

傘はたよりになりません
日ヤケを防ぐ只一つの方法は
ホーカー液
を朝夕必ず一二滴づゝお塗けなさるに限ります
色白くキメを細く 汗を止め脂を消す 家庭御化粧料

定價
小瓶(包裝)二十錢
中瓶(桐箱入)四十錢
大瓶(同)八十錢
送料 內地無料 滿鮮廿錢

中元 暑中の 進物用として好適

本舖 東京神田和泉橋際 堀越嘉太郎商店
電話下谷長一四三、長一四四、一四五、一四六 振替東京一一五

京城日報

第三版

七月十三日（夕刊と合せて八頁）

定價　本紙一部金二錢五厘　一ケ月金五十五錢
發行所　京城日報社　京城太平通一丁目
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介

▲保合小堅し

十二日の九月限

君主制　京城日報

近頃協商諸國民間に、遙かに自由民主政治思想を鼓吹するものあり、英吉利人の如きは、最も之が鼓張に努むるが如くなれども、其英吉利も英帝國たるものは、君主制に依りて、支持せられつゝあるとも、最近に至り、愈よ明白となれり、乃ち英吉利が、印度、南阿弗利加、濠洲、加奈陀其他の廣土衆人を一統する所以のものは、其君主制あるが爲めなり、英國皇帝あり、即ち大英帝國あり、過日帝國軍事會議にて、君主制は帝國組織の基礎なり、といふ大主義を表示するに至れるは、決して偶然にあらざる也。

世間、印度の英國に心服せざるを云ふや久し、然るに此度の戰爭にて、印度人民最も進みて、其兵を戰線に出し、奮闘甚だ努むるあり、印度は從來常に革命運動、獨立運動を傳ふる處なれども、戰時却て極めて靜穩を復た騷擾を傳ふるものなし、印度人民乃ち以爲らく、英國君主は即ち印度皇帝なり、印度人民たるもの、其皇帝の爲めに身命を致さゞるべからずと、印度人往々、英吉利人の跋扈專横を訴ふ、然れども英吉利人其ものを非難するのみ、彼等は其の戴くところの、皇帝に對する忠節を忘るゝことなし。

然らば、近頃自由民主政治思想を鼓吹するもの多きは何の爲めなりや、曰く是れ露西亜に革命あり、協商國民は、則ち露國人民の意を迎ふる爲めに、強て其言を爲すものゝみ、且北米合衆國政府戰爭に參加するや、其國民を鼓舞する爲めに力めて其言を爲し、此戰爭は自由の爲めなり、民政の爲めなりと稱す、米國は共和民主制なるを以て自ら此言なかるべからず、然りと雖も、自由民主的政治思想と戰爭とは、全く無關係なり、啻に之のみならず、之を極言すると、則ち戰爭其自身と、相容れざるの結果を來たさゞるべからざるなり、夫れ自由民主論者の根據は、個人主義なり、個人の自由平等博愛を主と爲すときは、軍政は行はるべからず、加之社會主義に基くところの、非戰論露人を動かしてより以來、露國政府の困却は言ふまでもなく、協商諸國も皆其處理に苦みつゝあり、英國政府自身も、愛蘭問題、同盟罷工に悩まされつゝある際なれば、強て自由民主論、社會主義的平和論に調子を合せむとするは、其の最も苦痛を感ずる所ならざるべからず。

露西亜の革命は、英佛諸國民が強て稱揚する所なれども、其事の露國に取りて大損失たるのみならず、協商國側に及ぼす影響の、甚だ大なるは掩ふべからざるの事實なり、初め革命を助けたるものは、露國皇室が獨逸と、單獨講和を爲すことを企てたり、と云ふを根據としたれども、革命後の新政府は、兵卒、勞働者團體の支配の下に在る爲めに、徒らに平和回復を圖るのみにして、何等作戰上に努むる所なく、剰へ非併合、非賠償主義を提唱して、之を以て協商國を勸誘せむとするに至る、誠に其顛倒の甚だしきに呆れざらむや、畢竟今日の、流行的自由民主政治思想の如きは、戰時の變態心理の上に現はれ來れる一時的幻影のみ、之を言ふもの、自ら其過を悔るに至るべきや論なきなり。

隣邦を奈何 ―對支國策を確立せよ―　中島生

筆者曰く、本稿所思の半ばにも達せず之れより本論の主眼とする所の對支經濟活動について所説せんとするに際し、筆者急に内地に旅行の用を生じ親筆の遑なく遺憾一時休稿するを得ず、讀者の諒とせられむことを乞ふ

國家的後援（下）（三）

人材登用の途を開き、有能の士をして充分の手腕を發揮せしむべしといふ事も其一である。支那に關する經驗智識に富み、其々の方面に於て才能ある人を、適當の途に用ひ、國家の爲めに分業的に活動せしめよ。之が爲めには學閥によりて、人物に輕重を附する事なく、主として其人の受けたる教育徑路によりて地位に輕重を區別する事なく、人物本位才幹本位にて、有能の士を野に求め、若し爲すある者は、破格の拔擢をなして可なり。年齡を問ふの必要はない。老いて無能なるは排すべし、若きも大器の質ある者は盛に登用すべし。天下は老人の天下に非ずして、時代は壯年青年の活動を要求する事切なるものあり。少壯有爲の士、志を有して之を施すの所なく、徒らに空しく櫪櫪の間に不遇を歎ずる者、天下に多し。人物經濟上勿體ない事である。國家は之を用ふるの途を開くべし。國內青年の不平を驅りて、之を支那に導びき、跼足をして大陸の天地に思ふ儘伸ばしめよ。四百餘州の江山は實に青年活動の大舞臺である。人材登用の途を大に開く事は、又同時に有爲有能を養成するの方途である。此事は賢明なる進取的積極的政治家が實權を得たる時に於て、其の力に負ふ所大なるべきものである。人材を登用すと云ふも、夫は廣義の登用を云ふのであつて、官界にも、實業界にも、其他有らゆる支那に於ける邦人の、苟くも働くべき方面に新人を採用し、有能を發揮せしめよと云ふのである。

大阪より　大阪支局　一記者

◇今後大阪の工業集權は有利なる地方を選び漸次他に分布され、大阪は商業地資本地として、財政經濟の上に特色と權威を保持するに至らんと云ふものあり、或は然るべし。

◇從來小資本の工場が電力の供給其他共通的利便を得るの必要より池貝商會大阪附近の地を卜したるが、今後大會社にして諸般能悉く獨立し得るものは自然の理として他に散ずべし、事業家が廣島縣山口縣の瀨戸沿岸に注目し始めたるは、地方開發のため悦ぶべき現象なり。

◇煤の都大阪市內の工場は大小合して三千、雜種工場が八百以下金屬纖維、食品、化學工場が最も下位にある、北區、南區が九百東區が六百西區が僅かに四百に過ぎず、然かも西區は廣袤全市の約四割を占め莫大なる未開地に沿ふて築港あり、臨港鐵道敷設せられ河川面積又頗る多ければ將來の工業地發展は西區に伸びるの外なかるべしと。

◇日本兵器會社の露國信管製造は七月を以て全部の納造を終り、政府保護の下に他の兵器製造に移るべしと日本民營の兵器が世界的聲價を確實にし好良なる成績を收めたるは國家的成功なり、小西喜代松君の經綸又偉とするに足る、近來の快心事なり。

謎（10）　布施生譯

通常なら署長と一所に鈴富を警察まで護送して行く筈なるを、阪は少し思ふ考へがあるので、署長に程よう許可を求めて、自分一人は銀行の門口で別れる事になつた。

考へと云ふのは他事でも無い、先刻鈴富が『ジプシイ』と云ふ合圖と共に壁尾に渡したあの手紙である。あれから探索の歩を進めれば、屹度大きな手懸りが出來るに相違無い、壁尾はあの手紙をどう云ふ工合に處置するだらう、兎に角當分は壁尾に目は離されぬと、窃と其儘銀行對側の大きな建物の際に身を潜めて、銀行の中で事務を執つてゐる壁尾の擧動に注意してゐると正午の時計が鳴出すと、何事も無かつた壁尾は急いで席を立つた、そりや之からだと警戒する間もなく、壁尾は服に刷毛を懸け帽子を取つてひよいと冠ると、何氣ない風で門を出たが、戸外に出ると立停つて暫時四邊を伺ふ樣子である。はてな奴さん中々用心深いわい、もしや己が尾行するのに氣付いたのか知らん、と阪は少し心配したが、何其心配は無駄であつた、實は何方から往かうかと一寸道順を思案したばかりと見ゑ、思案が定ると何の用心もなく電車道を横ぎつて、其儘向う町の方へてく〳〵と、もう傍目もふらずに歩いて行く。

何處へ往くのかと跟いて往くと、モンマルトル街から寺町へ出て、寺町へ這入ると三九號と番號札のある家の門前へ出た、壁尾は心得顏に扉を開けてつか〳〵と玄關から細長い廊下を奥の方へ進んで行く、阪はもう是迄と躍り蒐つて壁尾の腕をぐいと掴んだ、不意の事で驚きながら振離さうとして、然と見ると、それは今朝方銀行で顏を見覺えた探偵である。壁尾は悸乎とした樣子で少し度を失つた、其儘を外さず阪は高飛車に

『騷ぐな、一寸聞きたい事がある』『私に？』『左樣さ君にさ』『だつて僕は何にも知りません』『何でも可い、兎に角一寸此方へ來給へ』

壁尾は最早抵抗する元氣もなく引かるゝまゝに家を出て二人は傍の横町へ這入つた、阪は愈な高飛車に『さあ委托つてきた手紙を出して貰はうか』と云はれて喫驚したから『手紙なんて僕は知りません』『駄目だ〳〵、今朝鈴富から手紙を一つ委托つたぢやないか、君はもう閻魔帳について居るんだ、隱したつて隱せるもんか、さあお出し給へ』と急されて壁尾はもう恐入つた、それでも出來るだけは隱著す心算や、『成程手紙は預りました、しかしそれは讀んでしまつてから破いちまつたんで』『駄目だ、そんな瞞着に乘る己と思ふか、これ、君は其手紙をジプシイと云ふ女に屆けるんだらう、そして現にそれを屆けに來てゐるぢやないか』と急所を指されて壁尾はもう絶體絶命、阪に握られた手頸を振放さうとしたが、是迄でも阪に油斷は無かつた、急所を執られた壁尾は脱けるに脱けられぬ、輸贏けに終る外は無い、觀念して少し靜まつたのを見計らつた阪は言鋭く『さあ手紙を懸けずに早く出せ、出さないと懷中を探すぞ』と叱られて壁尾は遂に『出します〳〵』と云ひながら不承〳〵に内懷から手紙を出して阪の手に渡した、阪は目を懸けた仕事が如此うまく中つたものだから、嬉しさに雀躍上らぬばかりになつて、大急ぎに封を切つてみると

日報詞壇

◯山中見牡丹　古城　梅渓
憐心不願入華堂。古寺山陰艷欲妝。態度嫋娜媚姸宛似。
評曰 切于題意。

◯同　上　安永　春雨
老衲談禪傾國色。映青天。清時無復猛獅伏。唯見花陰胡蝶眠。
評曰 託意言情、含思深遠、全絶凡想。

◯自　嘲　齋藤　三貢
醉生夢死輕忽忙。詩酒悠悠學楚狂。一百年中心身寄。在無黑甜鄕。
評曰 眞是脱俗之言。

◯同　上　安永　春雨
刀鋸鼎鑊奈無功。嫁男婚女總未終。不解閑非不嫌酒。三四余亦同其窮。
評曰 同

◯同　上　大隆　鳩仙
死死生生廻六道。一心萬境本來無。迷情盡處夢如覺。四十八年忘我愚。
評曰 超詣

蠅　―五の日十の日の合―

◯蠅とびまはる明日から試験　華虹
◯船が著いた鱷魚が賣れる蠅　句平
◯何でもない字が思出せぬ頭の蠅　鳥堂
◯薄荷酒の盞を離るゝ蠅なり　目池

見よ＝八月號＝見よ

幼年の友

おとぎ理科　こつぷの手品
特別おみやげ　打拔二重人形

こほのか
西條河原の夕すゞみ
東京見物夏の兩國橋
ズドン一ぱつ通おとし
ポチよむちそう召上れ
壯快なる幼年富士登山
遊戯應用砂あそびの歌
今月の歴史頼朝の奥兵

一冊十二錢郵税五厘

東京市京橋區南鍋町
實業之日本社

MACBETH
凹湧くが如き人氣　初日晝夜滿員
沙翁晩年の大著、文藝大寫眞
史劇マクベス　全九卷
後タッタ三日間（七月十五日夜）限り
早川演藝部直營
電話一〇五五九七番
有樂館

最新刊
朝鮮語法及會話書
怪獸經濟戰記
北滿工業一斑
備としての教育
教育學說の進化
實踐國際資料
雄辯術
野球年鑑
拙者名曲集
支那の兵相
秘密催眠術大觀
京城大平町二丁目　山本商店
大阪屋號書店

債權各論
末弘嚴太郎先生著　有斐閣
新進の民法學者
一切の問題
物價騰貴の影響なく
中元御進物に適好
商品券
大阪屋號書店

自働プレス釦製造機現る
從來の釦製造機は七箇組の如きは多數人員と時間を要し且不適の點あるのみならず而も其製品は不完全なるは遺憾なり當店今回新案發賣の自働プレス釦製造機は本機の特長とする所なり
磯部商店機器製作所

宇治茶道接販賣
御銘茶定價表
製造本店　京都宇治
問屋　井上六平
販賣御望の方は御照會願度候

時計貴金屬指輪眼鏡商
京城本町二丁目　三浦天龍堂

大好評の
スタンレー乾板
イルホード乾板
ベルム臭素紙
パゼット臭素紙
見本及使用書無代進呈
支店（京城南大門通三）
大阪　上田寫眞機店

謹告
拙者儀西村商會へ出勤中は不一方愛顧に預り厚く御禮申上候今回の都合上退店候に就ては御得意樣方へ一々御挨拶申上候
七月十三日
西村正二

分拆所開始
設備の完成
技術の優秀
分拆の迅速
京城明治町
田部分拆所

第卅九回特別帝國議會

衆議院

▲後藤内相辯駁 (十二日夕刊より續く)

福井三郎氏(政友)長演舌を弄して降壇するや恒松隆慶氏(政友)討論終結の動議を提出す此間に於て

□會期延長

十二日左の如く帝國議會會期延長の詔書發せられたり(東京特電)

詔書

朕七月十四日迄一日間帝國議會會期延長ヲ命ス

御名御璽

各大臣副署

▽後藤内相 發言を求めて登壇し『余の不信任案に掲げられし問題は豫算總會にて尾崎君の質問に對し既に答辯する處あり最早何等疑義を餘さずと信ず此の印刷物は決して秘密出版に非ず前内閣に反對せるものを以て陰謀團の名を冠するは何の意ぞや斯の如き在野當時の事を捉へて論ずるは偶々余が就任以來何等の指摘す可き失政無きを反證するものと言はざる可からず(此の時憲政會の怒罵絶頂に達す)憲政會は曩に國民の判決に遭ひて議員減少し議會の判決に遭ひて内閣彈劾案を否決され今又此の案を出して平地に波瀾を起さんとす諸君よヨリ偉大なれ、ヨリ愼重なれ』と怒罵喧騷の裡に辯駁を爲し決を執り決議案否決されたり斯くて議事日程を變更し所得税法改正法律案は委員長奥田榮之進氏報告通り可決確定建議案五案を委員附託とし午後五時散會せり(東京特電)

▲閉院式十五日

別電の如く議會の會期は一日延期されたるに就き閉院式は日曜なるにも拘らず先例あるを以て十五日舉行さる可し(東京特電)

紛糾せる支那政局

▲段氏の最後決答通告 張勲に對し二十四時間以内に

段祺瑞氏は十一日午前張勲が外國公使館に逃走するに於ては身體安全なる可き事、張勲の部下は直に武装を解除し同時に職業を轉ずると歸郷の上兵士たるとを問はず其の自由に任ず事、張勲の家族及び私有財産は安全なるべき事を條件として二十四時間以内に最後の決答を促すべき通告を發せり(北京特電)

▲北京總攻撃通告

十一日午後四時半劉崇傑氏は段祺瑞氏の使者として日本公使館を訪問し張勲氏は武裝解除其他の條件を承諾せざるに依り愈北京總攻撃を爲す旨通告せり我駐屯軍は攻撃開始前より城内東南の邦人居住地帶に歩哨を張るべし(北京特電)

▲北京總攻撃開始

段祺瑞軍は十二日午前四時三十分愈々北京總攻撃を開始し北京を包圍しつゝあるが目下城外に肉迫しつゝある段軍は五萬人と稱せらる尚段軍は總攻撃に際し各國公使館區域を戰闘の範圍外に置く旨を通告せり(北京特電)

▲張勲討死の決心

張勲氏は十一日徐世昌氏に遺書を送り討死の決心を表示せる尚手兵一營約五百名は張氏に殉ずべく覺悟を定めたりと(北京特電)

○潜艇戰の效果を悲觀す

獨逸軍事記者は潜航艇戰の效果に就て悲觀して曰く『敵は潜航艇捕獲術機械水雷等に依り益々潜航艇の效果を減殺せんとす潜航艇戰に依りて決定的效果を期するは危險なり』云々(倫敦電報)

○軍司令官動靜

秋山軍司令官は十二日午後八時宮島丸にて來淸一泊の上十三日羅南に向ひ十五日迄部隊の檢閲を行ひ十四日聯合演習舉行の筈なり(淸津特電)

○近野工兵監著淸

近野工兵監は十二日來淸一泊の上十三日會寧に向ふ筈(淸津特電)

在郷軍人會規約改正に就て

在郷軍人會發展の狀況と從來の實驗に基き先般同會の規約改正せられ雜誌戰友六月號に記載されありしも在郷軍人中未だ之を承知せざる者あるべきを以て此に同改正の要項を紹介すべし(雁澤生)

一、支部に聯合分會を置く事は從來特別なりしも今回之を本則とすることに改めらる
二、在郷軍人の多數集團する工場鑛山會社等に聯合分會及分會を置き得ることに改正す
三、本會の意思徹底團結及事業實施の便を圖る爲め分會内に班を置き班内に班長若干人員を以て組を組織し得ることに定めらる
四、支部聯合分會及分會に夫々顧問を置き得る事と定む
五、本會の目的を明確にせらる即ち本會は軍人に賜はりたる勅諭の御精神を本體とし在郷軍人の本分を完うするを以て目的とす
六、事業は本會の發展に伴ひ已に各地に於て實施しあることを規約中に掲げり
七、本會は團體として又會員は本會の名目及團結を利用して政治に干與するとを嚴禁さる
八、會員徽章佩用の制を明示し又此場合會員は成るべく軍服を着用する事に定めらる
九、會員徽章改竄旗の制式は從來評議會の決議に依り之を定むる事と爲し居りしも制式に重きを置く爲め評議會の決議に依り會長の協議を經て總裁の旨を受け會長之を定むることに改めらる
十、海軍武官は制度上陸軍と一致せざる者あるを以て之を海軍に準用するとを明示せらる
十一、支部以下の規約は夫々會長又は支部長の認可を受くるを要することに改めらる
十二、會員の表彰懲戒と制裁方法を規定す
十三、分會及班には會員名簿を備へ附くる事に定めらる
十四、其他從來の實驗に鑑み細部につき一部の改正並に字句の修正行はる

京城財界近況 大勢は緩漫なり

朝鮮銀行營業課の調査に係る京城を中心として見たる經濟界の近狀を聞くに客月來米價は引續き内地相場の昻騰に連れ本春來の降雨不足は來るべき米作不況を氣遣はれつゝ更に昻騰を促し此の方面稍や活況を呈したりと雖も一般に在荷薄なると或は手持筋の先高見越し圍ひ米賣惜しみとは全く輸移出杜絶の姿にして米價暴騰の反動は勢ひ外米並に粟の輸移入を誘致するに至りたるも新麥の出廻り季節に入りたるがため幾分之等の輸移入は手控への狀態にあり大豆は内地荷遞と相俟つて益市價の奔騰を來し内地よりの買注文輾轉せるに拘はらず鮮内を通じ在荷薄なると頃日來近海濃霧のため船舶の缺航珍らしからず且つ内地鐵道輸送力の不足は更に移出をして閑散に陷らしめたるもの如し牛皮は從來主として内鮮に於ける諸國軍需品註文のため移出旺盛なりしに當地に於ける需要も亦尠なからざりしも近時註文品行惱みのため相場も下向の傾向を呈し

▲賣行活潑ならず 綿絲布に至りては依然母國の滿洲輸出旺盛を持し而かも相場は引續き高値を保持し而かも慶需期に際して例年需要閑散季なるに拘はらず當月に入り來るべき需期見越しの買付相當行はれたるも許先づ一段落を告げたる模樣にして此方面に對する資金の需用は漸次減退を示し一方

▲金融の出盛り期に入り貸附金の增加並に移出資金の需要を喚起せるも未だ以て大勢を動かすに足らず當下半月に入りて大體に於て銀行業側は預金の增加に反し貸出減少の趨向を辿り金融極めて平靜裡に經過せり

京畿租税徴收狀況

大正六年六月三十日現在調査に係る京畿道管内租税及び驛屯賭徴收狀況を聞くに左の如し

▲地税 調定額一千四十一圓に對して十七圓の收入あり此の收入步合一分六厘

▲市街地税 調定額十萬五千九百四十七圓に對して十萬四千百四十七圓の收入あり此の收入步合九割八分二厘

▲戸税 調定額三萬六千九百二十圓に對して三萬六千八百九十四圓の收入あり此の收入步合九割九分九厘

▲家屋税 四萬一千四百十九圓の調定濟額に對して三萬九千五百七十四圓の收入あり此收入步合九割五分五厘

▲所得税 六萬三千六百三十五圓の調定濟額に對して五萬九千九十七圓の收入あり即此の步合九割四分三厘

▲酒税 四萬一千九百二十五圓の調定濟額に對して四萬二千二百五十八圓の收入あり即ち此の收入步合九割九步四厘

▲煙草税 十四萬二千七百五十四圓の調定濟額に對して十三萬六千二百八十九圓の收入あり此收入步合九割五分四厘

▲鑛税 調定濟額四千四百七十七圓に對して一千六百五十圓の收入あり即ち此の收入步合三割六分八厘

▲雜税 調定濟額五百三十四圓に對して五百三十四圓全部の收入あり

▲租税計 調定濟額四十三萬八千六百五十二圓に對して三十六萬九千四百六十圓の收入あり此の收入步合八割四分二厘を示せり

▲驛屯賭收入 調定濟額八十六圓に對して六十六圓の收入あり此の收入步合七割八分六厘

□鴨綠江岸の富源 東洋一の大森林

林學博士 中村彌六氏談

中村林學博士は鴨綠江の森林を以て東洋第一の大森林なりとの前提にて語る

世人やゝもすれば鴨綠江材は内地材に比して、建築後狂ひを生ずると批難するが、是れは素人考へから云ひ出したものであつて、何んな木でも乾燥さへ充分にすれば決して建築後又は器物の製作後に狂ひ等を生ずる氣遣ひはない、何分生木の儘では普通

▲五割も水分が含まれてゐるから自然時を經るに從つて狂つて來るのは當然である、併し普通の木製品は何んなものでも幾らか宛の水分は含まれてゐる、ことに恭盤があるが此の恭盤でさへ可成り拵へてから年月を經たものだが僅かに一割五分の水分を含有してゐる故に「狂ひ」といふ點に就ては木質の如何を問ふの は間違つてゐる、何んな木でも充分に乾燥しさへすれば、決して狂ひなんぞの生ずる虞れはない、歐洲では家屋の建築に

▲用材の制限を設けてある、それは木材を伐採してから納屋へ一年間入れて置いたものでなければ其の使用を許さぬ事になつてゐる、さうして此の乾燥をするのに蒸汽で蒸せば早く出來るが、さうなると費用の問題になつて來る。同じ木でも建築用材と工業用材又は製紙用材抔と夫々用途に據つて供給先が違ふから鴨綠江の木といつても、何れが好い木で、何れが劣つた木だといふ事は一寸説明が爲し難い、併し鴨綠江岸は木材として有ゆる方面の需要を充たし得るに足る多くの

▲種類を包藏してゐる、さうして其種類は今更ら説明する迄もなく、疾うに總督府當局から屢々發表してある通り、種々な用途の需要に應じ得べき木材が澤山ある、而して此の江岸の森林より生ずべき富源は二百億立方尺と見て大差なからう是れ實に現存の樹木を伐採してさへ百年を繼續し得るに足る見込みであるから、二百億立方尺の木材を平均一立方尺三十錢と見ても實に巨額な高に達するであらう

仁川商議初會議

仁川商業會議所初會議は十二日午後三時半より同所樓上に於て開會、先づ奥田貞次郎氏臨時議長席に着き開會を宣し、議員の席次を定めたる後會頭副會頭の選擧を行ひたる結果會頭には奥田貞次郎氏、副會頭には[illegible]田[illegible]氏、丁致國の兩氏當選續いて役員の選擧を行ひたるに左の諸氏[illegible]當選せり

[illegible]

より一場の挨拶あり同五時散會夫より後樓上に於て懇親會を催せり(仁川)

京電營業成績

京城電氣株式會社第十八回決算報告によれば大正六年上半季に於ける營業狀況を聞くに六月末電燈需用家數は各支店を併せ二萬一千百五十二戸燈數十萬二千十燈光換算十萬二十燭電力は取附電動機數二百二十五基二千九十八馬力に達するに至れり今上半期間に於ける各支店の增加數を舉ぐれば左の如し

▲京城支店 前半期末に比し戸數六百三十四戸燈數八千百三十九燈の增加なり

▲仁川支店 前半期末に比し戸數九十戸燈數百九十燈の增加

▲馬山支店 前半期末に比し戸數二十戸燈數五十五燈の增加

▲鎭海支店 前半期末に比し戸數九戸燈數百五十燈の增加

▲電車事業 は營業日數百八十一日にして一日平均收入金一千二百十七圓九十八錢

▲瓦斯 は期末用家數六千五百四十六戸燈孔口にして一日平均供給高[illegible]

以上の如く電燈電車瓦斯共大體に於て[illegible]

◎近野工兵監來鮮

會寧工兵大隊教育狀況實地視察の爲め渡鮮の工兵監陸軍少將近野鳩三氏及び工兵監部員工兵中佐入江源吾氏は去七日門司出帆の宮島丸にて海路淸津に直行したるが左の日程を以て旅行の豫定也

▲十二日淸津上陸▲十三日より十六日まで會寧工兵大隊教育實施狀況及び同地方視察▲十七日淸津出帆十九日元山上陸▲二十日午前九時四十分元山發夜午後五時南大門驛着京城大觀亭一泊▲二十一日午後七時五十分南大門驛發歸東

◎練習警官修了式

警官練習所にては十三日午前七時より練習官四十三名に對し修了式を執行し警務總長を始め警務部長等も出席すべし

◎漆工會例會

來る十四日(土曜)午後七時より朝鮮總督府中央試驗所内に於て京城漆工會例會を開催當日左の講演ある筈

[illegible]

◎齋藤大尉赴任期

[illegible]司令部附を命ぜられたる齋藤大尉は來る十四日午前九時三十分南大門驛發列車にて赴任の筈

◎白水參課長の招宴

朝鮮駐劄軍參謀課長白水淡少將は軍及司令部の幕僚を十二日午後七時旭町一丁目千代本に招待せり

◎太田校長送別宴

佐賀縣師範學校長に榮轉せる太田秀穗氏の送別會は十二日午後六時半京城ホテルに於て開催宴酣なる頃關屋局長は起つて送別の辭を述べ之に對して太田氏は起つて謝辭あり更に關屋局長より友誼的別辭あり十時散會せり來會者中重なる者は國分宇佐美長官持地各長官關屋局長中村阪出村田各技師人見大塚久芳澤田小田各課長入澤今村雨部長語孫子柴崎兩校長趙重應子爵其他日鮮官民百數十名なりき

◎哈市の南滿連絡

七月二十一日より南滿鐵道哈爾賓公所に於て長春驛務朝鮮鐵道局線著片道連絡乘車券發賣を開始したるが其通用期間は長春驛發賣のものに二日間を加算したる日子を以て有效期限とするものなりと

◎大阪高商生入京期

大阪市立高等商業學校修學旅行團は來る十五六日頃入京の豫定なり

人事

▲[illegible](京城[illegible]校長)十一日入京

▲佐藤[illegible]部長(大阪[illegible])十二日入京 同上

▲田中[illegible](京城[illegible])十二日[illegible]

南言北語

支那の時局を福の目にだが大分春不もあるらしい▲差し當り張勲芳さ富處ぎは一番の箆之鑑を引き當て居る▲が、昨日の人の身の上は今日の我身の上となる支那だからまだ何とも言へない▲小股のすくひ合ひは大角力でさへ有る支那の大角力は小股許り狙つて居るから見物には鳥渡勝負が見分けにくい▲明石柏原將軍が出動復活を發表の新聞號外を見ると▲一東日新聞號外を見貫下が三日前の號外を見ると[illegible]御中せしに感服仕候』との端書を内田良平君に送つた▲内田君ソーイ見た顔が▲其筋かで輯館なであつたが昨年の寄行にオヤ〳〵其樣な筈ぢやなかつたと張勲同樣▲近來は頓と隱れて現はれないが斯う云ふ時に面白い批評をやるのは志賀矧川君である▲同君の陰分突ッ飛な批評振りを紹介せらるゝ時▲東方策で有名な稻垣滿次郎公使に伴れて公使に伍せられた▲矧川君は或雜誌で評して曰『稻垣滿次郎公使に伴せらる天下の事知るべきのみ』とやつた▲稻垣先生イヤ怒るまい事かす懷表を懷にねぢ込み▲血相變て大隈邸へ駈け付ける途中バッタリ大養木堂君に出喰はせ▲やつと止められた事もあつたが▲憲政黨脱黨の際の由書も珍なもので▲吾輩地理學を研究すること十有二年と云ふ書き出しだつた相な▲此の筆方で支那政局を評したら頗る面白いものがあらう▲衆議院の大茶目小茶目は彼の樣に騷いで居る内でも大分茶目つて居る相な▲其内でも頗る振つた『數字遊戲』と云ふのがある▲最も秀逸と云ふのは斯うである『419+001−634=606』▲此の説明は鳥渡預つてをくが抱腹絶倒に堪へない▲何處でも大茶目の茶目振りは誤念が入つて居る

懸賞ゴルフ大廣告

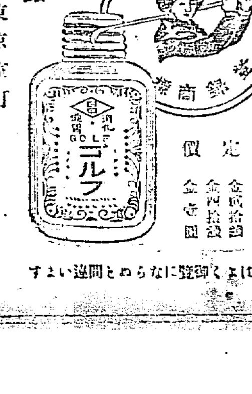
(一)ゴルフの如何なる効能ありや
(二)ゴルフの瓶の底にはどんな畫があるか
(三)此廣告を御覧になつた新聞名

◎右三問題は郵便はがきに認めて東京室町三丁目泰昌製藥株式會社廣告部宛て御送付の事
◎正解者三百名以上の時は新聞社員立會の上抽籤を以て當選者を決定す
◎一等より四等迄の當選者は新聞紙上にて發表す
◎〆切八月十日

賞品
一等 上等懷中時計 一個ヅヽ 三名
二等 上等置時計 一個ヅヽ 五名
三等 上等財布 一個ヅヽ 二十名
四等 萬年筆 一本ヅヽ 三十名
五等 色白くなるゼンセリンクリーム 一個ヅヽ 二百五名

平生胃の惡い人
頭を使ふ人
身體虚弱の人は……迷わずに……スグ
胃病に一番よくきく
ゴルフ を常用せよ

全國藥店にあり



定價 金三拾錢 金五拾錢 金壹圓

よくきく唯一の證據は毎日到る禮狀で判る

一日の藥價 タッタ貳錢

目藥 アドラ
神經衰弱藥 エクレス
色白くなる ゼンセリンクリーム

東京室町 本舖 泰昌製藥株式會社
電話本局五一七九
振替口座東京二七五七七番

瓶の底の印はよく御覧にならぬと間違ひます

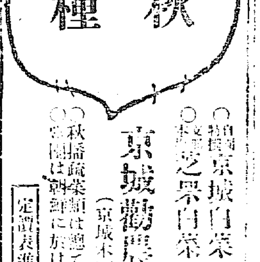
▲廣告▼

◎筍鑵詰三斤詰
◎同 六斤詰
◎同二貫五百匁詰
◎松茸鑵詰
◎福神漬大小
◎グリンピース

各鑵詰類は御承知の如く鉱力叙大暴騰と各地好景氣の爲益々上進の成行にて殊に右の品々は天井不知の相場に御座候得共弊店は五六月の仕込最中に各産地へ出張致居候に付格別の利口品を相當仕入置候間何卒多少不限御注文仰付被下度願上候
多數御用の場合は大阪の貯藏品御購入可申上候

京城南大門市場
合資會社 辻本商店
電話[illegible] 振替京城三八番

創業明治三十七年



○特選京城白菜 ○京城白菜 ○芝罘白菜 ○直隷白菜
○秋播蔬菜種は總て[illegible]
○[illegible]
定價表進呈
京城勸農園 (京城本町三丁目)

●外米輸入激増

近來外國米の輸入激増せるに付き此……し六月に於ては八萬一千六百六十七石に増し此後も倍々增加の傾向あり本年上半季に於ける外納米の輸入總……西貢米三千四百二十八石此價格七萬五千七百七十七圓ラングン米七十四石此價格二千八十六圓にして從來共……萬三千二百三石を輸入し大正四年は……減じ大正五年は二千八百九十九石を……米價下落の爲め七千八百八十二石に……

●京畿客月檢米高

……船腹不足の爲め斯かる變化を見るに至れるものなるべしと(釜山)……客月中……六十五叺下格玄米八千五百七十四叺中白百七十叺にして一月以來の累計……

●京城紡織……

……以上……檢査延人員は四百二……十六人なり……

外米輸入の影響と共に從來外國米は毎月四百石內外の輸入に過ぎざりしに本年は五月に四千三百石を輸入十三萬三千四百三十圓にして之れが品種を區別すれば暹羅米一萬二千四百十九石價格十六萬千七百六十七圓のにして[illegible]大正二年の如き米價の騰貴せる[illegible]總額三十二萬二千〇九十六石の巨額に達し大正三年は十五直接輸入せるもの多かりしに本年の輸入米は殆んど神戸、下關を經由せるもの多きは畢竟時局の影響を受け

[illegible]聞くに檢査總數玄米壹萬三千六百四十七叺中白百七十叺內優等合格玄米二千三百[illegible]八叺上 格玄米二千四百八叺上 格一萬三千八百二叺下格玄米三萬九千九百廿九叺中白五百四十二叺[illegible]移出道外搬出禁止四百廿九

[illegible]の調査する所に由れば大工職外十七職人の勞銀は石工の一圓四十三錢を最高とし人夫の六十九錢を最低とし

[illegible]內地人一圓二十三錢鮮人七十三錢▲煉瓦職內地人一圓三十錢鮮人七十五錢▲ペンキ職一圓十五錢▲鐵力職一圓二十五錢▲[illegible]一圓二十五錢▲疊職一圓二十錢▲井戶掘一圓三錢鮮人六十八錢▲活版職一圓▲表具師內地人一圓

水上飛行 操縱が難しい
波濤を突破する海軍飛行機の構造
横須賀海軍航空隊教官 福岡海軍少佐談

横須賀海軍航空隊飛行機隊長兼教官海軍少佐福岡成一氏は鎭海要港部視察のため同地に赴く途十一日午前釜山入港關釜連絡船さくら丸より上陸同十時三十分釜山棧橋驛發北行列車に搭乘鎭海に向ひたるが車中訪問の記者に海軍航空隊の狀態に就き語つて曰く

▲現時海軍航空隊における設備及び飛行機の數は軍事機の秘密に屬せるを以て詳細に語るの自由を有せざるも現在橫須賀航空隊に有する飛行機は總てファルマン式にして

◆七十馬力 乃至百馬力の發動機を備へ居れり海軍飛行機は陸軍飛行機と異なり海上に於て潮流及び波濤を突破して飛揚せざるべからざるを以て構造に於ては別に異なる點なきも支柱、繫索其他總ての部分に於て堅牢を主とし建造せる爲め重量を增せることは素より云ふ迄もなく自から操縱にも一段の

◆手腕を要す べきは亦當然なり、元來所澤の飛行研究會は陸軍、海軍大學の飛行機研究並びに練習に充つる爲め設立したるものなるも海軍飛行機は陸軍と同一の教練を爲す能はざる特種の點あるを以て海軍に於ては橫須賀鎭守府內に航空隊を設け同隊內に豫備飛行隊、練習飛行隊の二隊となし專ら水上飛行の

◆教育練習 に努め居れるものなり、練習飛行隊にては昨年十一月入隊したる飛行將校及び機關將校八名の生徒を教育したりしに去六月何れも卒業したる爲め現在は一名の在隊生徒なきも新たに同數の生徒を入隊せしめ教育を施す事になり居れり、海軍飛行機の發達は近時

◆大に進步 し大正三年頃即ち歐洲戰亂以前は僅かに四五時間の飛行を爲すを得たりしに其後研究の步を進め歐洲各國の狀態に鑑み飛行機の構造に改良を加へしのみならず操縱の練習に意を注ぎたる結果は當時十時間位の飛行は容易なるを得る迄に進めり然れども同隊に於ては尙一層の

◆調査研究 を爲し飛行機の改良並びに操縱の練習に努めつゝあるを以て漸次進步發達を見ることを得べし現時飛行機の數は歐洲各國の其れと素より比較すべきに非らず同隊設置當時と大差なしと雖も各飛行將校の操縱手腕の進步發達は實に目醒ましきものあり既に同隊を卒業し各原屬部隊に復歸せる將校の數も

◆二十餘名 に達せり、歐洲實戰の爲めに飛行機に對する新研究として今日迄別に著しく發見する處なしと雖も機體の構造を堅牢ならしめ繫引力の增大ならしむる事は賀せられたり（釜山）

メリーランド 火藥庫爆發

九日朝米國メリーランド海軍工廠火藥庫爆發し多數の死傷者を出せる見込なり（桑港電報）

各地豪雨被害
兩日の降雨量

▲平安北道方面 十日夜來の豪雨に依り道內各河川增水五尺乃至一丈四尺に達し道路橋梁の破損流失多く各地交通杜絕せり（十日黃海電話）

▲江原道方面 十日夜來の豪雨に依り道內伊川郡臨津江增水二十尺に達し伊川以北との交通杜絕す（十日共益電話）

▲淸州の暴風雨 忠北淸州方面は十一日午前九時頃より風雨益々甚だしく其の筋よりは町の辻々に警報を揭げ一般の注意を喚起せし結果先般の出水にて既に危懼の念を懷ける折柄とて市民の恐惶一方ならず何れも避難準備に大混雜を極め居れり雨は何時已むとも見當つかず鳥致院淸州間の電話の如きも雨脚激しき爲め相互に聞取る能はず殆んど不通の狀態なりと（鳥致院）

十日より十一日に亙る降雨は主に中部以北に多量にして就中淸川江流域地方に最も激しく平安北道定州及び雲山は共に二十四時間の量百六十粍內外に達し該流域附近は何れも百粍內外に及びたり之に次ぎては黃海道及び咸鏡南道地方にして八十粍內外に及べり同地方は共に今春來久しく寡雨なりしを以て今回の降雨は地方民の歡迎せるところならん又十一日拂曉に於て西岸一帶に南風强かりしが木浦は二十五米仁川は二十二米に達し沿岸に多少の被害ありしならんと思はる尙十一日午前十時に至る二十四時間に五十粍以上の雨量ありたる地方は左の如し（仁川）

漣川	五四	仁川	五七	楊平	八五
鐵原	八一	甕津	八五	海州	一〇五
載寧	八六	平壤	六七	安州	一〇六
德川	八八	定州	一六七	龍岩浦	一〇二
雲山	一五六	熙川	一〇四	昌城	一一九
楚山	九三	厚昌	五六	元山	八六
永興	一七八	咸興	六四	端川	六一
甲山	一一九				

大豺、老母を咬み少女を浚ふ

七月八日午後十一時慶尙北道尙州郡化東面新村里趙韓九の母李南村（五二）が暑さに耐へ兼ねて窓を開放したる儘窓際に就寢し居たるに十一時過ぐと覺しき頃突然南村の左腕に咬付きたるより眼を覺したるに大豺なりしより大聲を擧げて救ひを求めたれば其儘形跡を晦ましたり約五分を經て後方なる金客肅方より物凄き悲鳴聞ゆると同時に大聲にて長女景任（一二）が豺に拉去されたりとて救ひを求めければ附近の若者數十名直に集合し手を分ちて搜索に努めたるに約三十分を經て被害者宅より西北方五丁の小麥畑に見るも無慘の死體を發見したるが四肢は既に食盡され月光に血糊の光れる樣悽慘なりき急報に接し憲兵一名補助員二名現場に出張檢視の上直に附近の山野を狩立てたるも遂に形跡を認めず詮方無く里民に戶締を嚴守せしむる樣示達し引揚げたり而して一日以來毎晩午後九時より十一時迄二名の憲兵は被害地附近を警戒しつつあり

大石で滅多打
强盜に襲はる

慶南蔚山郡長生浦渡邊方止宿の京城

居住長崎縣西彼杵郡時津村濱口吉太郎（四七）は鰒買入の爲め長生浦に赴き去る八日同地同郡大峴面城岩里より長生浦へ歸る途中午後五時頃長生浦の對岸なる東洋捕鯨會社の裏手の山に差掛りし所突然雲突く許りの鮮人大男一名現はれ背後より大石を持て滅多擲に擲り付られしにぞ初太郎は不意を打たれて阪道を踏み外づして墜落したる所を件の鮮人は跡追掛け來り今度は初太郎の倒れたる上へ馬乘りになりて頭部を押へ土塊を口中に塗り込み泥の猿轡を嵌めて聲を揚げさせず懷中を探りて現金十六圓餘入りの財布を强奪し其上ならず一貫目もある大石を初太郎に投げ付け身體數ケ所に重輕傷を負はしめ逃走したる騷ぎに此報に接し蔚山署にては非常線を張りて搜索の結果略ぼ犯人に當りが付きたる由にて近日此の兇賊は逮捕さるゝに至るべしといふが初太郎の傷は意外に重く疾病休業數十日を要すべきも幸ひ生命には別條なしといへり（浦項）

賊二名と格鬪
重傷に屈せず仕込杖を拔いて渡り合ふ

遼陽立山支那人部落前居住の遠藤多右衛門（四七）方へ八日午前零時頃二名の支那人强盜押入り松丸太にて折柄熟睡中なりし多右衛門の後頭部を亂打し重傷を負はせたるも日頃氣丈の多右衛門は之に屈せず抵抗し病中なるにも拘はらず秘藏せる仕込杖を以て二人の兇賊と渡合ひし爲め遂に賊は此勢ひに辟易して逃走したるが程なく此の賊は二名とも警務署員の手に逮捕せられたり因みに多右衛門の傷は重傷なるも生命には別條なからんと（大連）

爆藥密買處刑

原籍東京市赤阪區表町二丁目十七番地生れ當時慶北尙州郡中東面上里居住の金銀鉛鑛業大住文次郎（五七）は昨年十月頃より尙州郡と醴泉郡豊穰面高山洞とに跨り面積二十五萬九千六百四十七坪の許可鑛區を有し採掘中尙州憲兵分隊の許可を受けて鑛物採掘に要するダイナマイト八千二百十六個雷管七千八百六十五導火線一萬三千四百四十六尺を購入し使用しゐたるが尙ほ其後醴泉郡に屬する地點にて鑛物採掘中同地憲兵分隊の許可を受けず又爆藥消費主任及び爆藥消費量の報告をもなさず然も事務室に於る箱にダイナマイト六百十個導火線千五百尺雷管四百四十三個を入れ置たる事發覺し銃砲火藥取締規則違反として罰金五十圓に處せられたり

古洋服が高價に賣れる
品物の不足な露西亞

◆露都歸客談に據ると人も善く知る如く露西亞では糧食の大缺乏を來して居るばかりで無く凡ての物品が不足してゐるので品物さへ持つて行けばうまい商賣がどん／＼出來るが悲しい事には例の輸送難で思ふ樣に品が送れないのでみす／＼儲け口を取逃すと云ふ始末斯う云ふ有樣だから日本で七八十錢位の莫大小のシャツでしかも二三度洗濯したのでも七留位に飛ぶ樣に賣れる景氣ださうな夫れ故露西亞から歸る旅客で不用の身の廻りの物、例へば外套とか着更の洋服や襯衣を歸る際に賣り飛して來ると日本へ歸へつて新しい上等なのに全部買ひ改められる上に大部の剩餘が來る勘定になるのでなまじい荷物にして途中面倒な思ひをするより輕い金にして旅をする方が樂でもあり汽車泥棒の目にも留まらないで幾分か安全だと云ふので大部此の手で歸る旅客も多い樣である（大連）

渡渉中溺死す

慶北達城郡來智面縣丹洞居住の崔應龍の妻李巳斗（四六）は去る五日朝同地の崔應顯の長女崔金伊（一二）の手を引き同地の小川を渡渉中折柄の洪水に押流され兩人とも行方不明となりしが此事を聞きたる同地住人は直に兩人の行方を搜査したる結果金伊の屍體は發見したるも巳斗の屍體は未だに發見せず

養女を苛め殺す

江原道平昌郡大和面柱木里李仁植妻金姓女（二三）は仁植の妻として養育中なる孫氏（一二）を虐待すること甚しく里長より數回說諭を受けたることあり六月十八日孫氏が言ひつけに背きたりとて洗濯棒を以て頭部を亂打し翌日遂に死亡するに至らしめたると發覺し金姓女は平昌警察署に引致取調べの上檢事局へ送らる

◆四角形の新貨幣
△米國で鑄造說提唱

近來米國の銀行雜誌は四角形の貨幣鑄造說を提唱して居る其言ふ所を聞くと四角形の貨幣は第一鑄造上大いに費用を省く事が出來る即ち四角形の箱に間隙なく詰め込まれるから圓形のものに比べると甚だ便宜である故に米國の如く廣汎なる各地方へ貨幣を移出する事の必要ある諸銀行は之に依りて大なる利益を得るのみならず大商人又は銀行家にして毎月多額の硬貨を現送する者に就ては非常な便宜を與ふ事となる又第二には從來の圓形貨幣は取落した場合ゴロ／＼轉つて遂に探し當らぬ事が多いのに反して四角形の貨幣は其心配が無いから一般社會は之によつて貨幣の紛失を防ぐ事が出來る事ともなり又技術上より見ても四角形は圓形に比して意匠を施すに遙に容易であると云ふにあるようであるが果して實用であるや否や疑問である我國でも昔德川幕府が四角な通貨を鑄造したが藩內でのみ使用を許す事に限定され廣く用ひられなかつたやうである

三人組

去る十一日午前一時頃慶尙北道慶州郡江東面邱里雜貨商金潤宅に侵入して金品四圓七十五錢を强奪逃走せる犯人は翌十二日浦項分隊杞溪派出所の手にて就縛されしが犯人は迎日郡杞溪面奈井洞金敬出慶州郡府內面北部里黃學奉、同江西面安康里崔根伊と呼ぶ三人組の穢多强盜にして當日敬出は被害者宅の差入口より室內に闖入し點火の上被害者に對し頭を上ぐべからずと有合せたる布團を其の頭に覆せ携帶せる庖丁を突き付けて脅迫し所持金の提供を迫り金潤外二名の同宿者の巾著中より有金殘らず强奪逃走せるものなるが敬出が强盜中外兩名は見張をなしたる由

犬に咬まる

苑面洞二百五十七統井上方の飼犬は十一日午後四時頃路四丁目龍山傍（一五）の左脚上股に咬付き負傷せしめしより目下該犬を檢診中

看護婦寄宿舍竣成

日本赤十字社朝鮮本部の看護婦生徒寄宿舍は先般來總督府醫院內に建築中の處此程落成せしに依り內部の設備出來次第生徒一同を收容の筈なり

◎秤を掻浚ふ 住所不定金萬鐵（一七）は九日朝九時頃南大門通り五丁目八十九番地田中醬油店方店頭にて同家の秤二百五百匁一個此價格一圓五十錢のものを掻浚ひたる所を其場で取押へられ檢事局へ送らる

◎憲兵劍術講習會 憲兵隊司令部に於ては總監部在勤の憲兵下士卒並に巡査全部は司令部道場に於て二十一同二十八日八月四日の三日間午後二時より門根大尉指導の下に劍術講習會を開催す可し

◎書畫骨董鑑定 嘗て宗家六代の法橋にて[illegible]の道に於ける[illegible]刀劍の鑑定[illegible]古實に精しき林月庵氏は今回明治町一丁目五十三番地に於て一般鑑定の需めに應じ鑑定料は依賴者の隨意なりと言ふが書畫其他贋物多き今日依賴者少からざる可し

◎妙心寺の盂蘭盆 妙心寺別院にては十五日午前十時より盂蘭盆大施餓鬼を修行し終りて後藤老師の提唱あり尙同日は參詣者に齋の饗應ありと

在東京の大塊翁から此程某和尙の處に來た手紙に依ると▲今年の議會は尾崎氏の質問やなんぞで隨分八釜しかつたやうに新聞などは傳へて居るけれど其實隨分閑散だと見ゆる▲夫とも忙中閑あり突底の境涯に居て洒々落々たる處を見せたのであるか▲大塊翁の如きは議席で居眠をせねば白扇に例の揮毫を盛んに遣つて居るとのことだ▲そして其大部分は蘭の畫である▲議會中の手習で大分上手になつたと御自分にも大分御得意のニコ／＼振りが書狀の上にまでアリ／＼と見えて居る▲序に翁の近什二首を御紹介しやう『蘭描いて吹きつゝ日比谷の避暑哉』又その一ろは『蠟腕で描くや芝蘭の香りかな』

大正六年執第四號
鑛業權競賣期日公告
一競賣ニ付スヘキ物件ハ京畿道楊平郡楊東面金鑛六拾七萬八千參百六拾八坪ノ鑛業權
右ハ沈悅所有ノ鑛業權ニ對スル抵當權者森勝次ノ申立ニ因リ競賣法ニ從ヒ競賣ニ付ス
一競賣ハ大正六年八月三日午前十時楊平憲兵分遣所ニ於テ同所執達吏事務取扱憲兵上等兵永井覺二郎ヲシテ取扱ハシム
一競落期日ハ大正六年八月八日午前十時當廳ニ於テ之ヲ開ク
一最低競賣價格金四萬五千圓也
一賃貸借ナシ
一登記簿ニ記入ヲ要セサル不動產上ノ權利ヲ有スル者ハ其債權ヲ申出ツヘシ
一利害關係人ハ競賣期日ニ競賣ノ場所ニ出頭スヘシ
大正六年七月十日
京城地方法院驪州支廳

大正六年執第五號
鑛業權競賣期日公告
一競賣ニ付スヘキ物件ハ京畿道楊平郡楊東面金鑛六拾壹萬六千六百坪ノ鑛業權
右ハ沈悅所有ノ鑛業權ニ對スル抵當權者森勝次ノ申立ニ因リ競賣法ニ從ヒ競賣ニ付ス
一競賣ハ大正六年八月三日午前十時楊平憲兵分遣所ニ於テ同所執達吏事務取扱憲兵上等兵永井覺二郎ヲシテ取扱ハシム
一競落期日ハ大正六年八月八日午前十時當廳ニ於テ之ヲ開ク
一最低競賣價格金[illegible]圓也
一賃貸借ナシ
一登記簿ニ記入ヲ要セサル不動產上ノ權利ヲ有スル者ハ其債權ヲ申出ツヘシ
一利害關係人ハ競賣期日ニ競賣ノ場所ニ出頭スヘシ
大正六年七月十日
京城地方法院驪州支廳

京日案內
普通一回前金五十錢　番外一回前金一圓
▲申込後中途掲載中止の節は前金返附せず ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲御照會の節は返信附にあらざれば回答せず

普通
◎小僧二三名入用 十四五歲小學校卒業したる者本人來談を乞ふ 本町一丁目 山岸天佑堂器械部 電一〇六 277
◎貸家 黃金町一丁目三井物產附近 日本建物二階家間數五、湯殿水道電燈付 蓬萊町 中村 電話一九七七番 275
○婦人販賣人募集 特許品にして經驗なきものにても出來ます（二二六七）壽町八 誠社 279
◎讓り店 本町通り目拔の場所何商賣にも適する格好の店 姓名在社 281
◎看護婦入用 但し有資格者及看護に經驗ある者は至急來談あり度し 仁川 小倉病院 274

番外
樂器萬年ペン物理機械寫眞機の修繕 本町ツツボヤ書店工作部 電話二二三 223
古ミシン高價買入 電話又はハガキにて御一報次第參上 京城鍾路二丁目パコダ公園近 電話三三八番 楠商店 249
通譯書記募集 英語會話に熟達の者月給四十圓以上希望者は十四日午前中來談の事 黃金町二丁目 シンガーミシン會社 276
勸業債券高價買入 但地方は御送附次第代金送呈致候 京城府南大門通一丁目 常磐商會 朝鮮銀行向側 280
鑛物各種分拆 太平町二丁目三六（電話二八二三）遠藤醬油店向側入る 松永分拆所 272
◎ほねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 206

季節柄適當の御進物品を
お撰びには
明治屋の品に限ります

營業品目

キリンビール 壺打半打 化粧函詰

商品切手
東京、名古屋、京都、大阪、神戸、門司、金澤本支店共通發行ニ付何レノ店ニテモ御引替可申候

洋酒 罐詰 函詰

洋菓子 折詰 罐詰

各地名產珍菓各種

布引鑛泉を原料として製造の
◎布引サイダー ◎レモン
◎レモネード ◎オレンヂ

葉卷 紙卷 煙草

京城本町一丁目
明治屋京城支店
電話二一七、二一三番

花がたみ

松田竹の島人作

（五三）

お豐は、早見謙吉が、赤阪若林の抱へ藝者の春子に夢中に爲つて、會社を失敗つて了ひ、行衛を晦ましてゐることを兩親に噺した。

最初早見の姿を見た時は、貶して惡口を言つたけれども、後には早見が法學士ではあるし、日本鑛産株式會社の營業課長も爲た程の人ではあるし、一端は藝者の爲めに身を過つたけれども、何時か再び芽を吹いて世の中に出られることがあるだらうから、一と月位の部屋代を寄來さぬからといふて、嚴しく催促しない方が可いと、暗に早見を庇護するやうなことを言つた。人の困るのを可哀想と思ふやうな殊勝な心の露程もないお豐が、何故這麼親切らしいことを言ふか、お豐は並大體の女ではなく、功名心に驅られて、如何なる方法を以てしても、富める家の主婦として時めかうと思つてゐた。從つて惡るい智慧が發達してゐたから、早見に關して何にか考慮があるのではなからうか。

嘉七夫婦は、近邊から笑はれてゐるのも知らずにお豐は豪いものだ。二人の子に什麼してあんな豪者が出來たらうか、今に出世するに相違ないと、何にかに就け吾が子の自慢ばかり爲てゐた。唯嘉七夫婦が殘念でならなかつたのは、お豐の標緻の勝れてゐないことであつた。これは嘉七夫婦が如何に躍起勃起しても、到底人力の如何とも爲ることが能きなかつたから、

『人間は、標緻よりか心が確乎してゐなけりや駄目ですよ。』と旨く標緻のことを逆げて言つてゐた。これが又近邊の突嘶の種と爲つてゐた。

夕方に爲ると、お豐は從刻に來るからと言つて、嘉七方を出た。そして小石川武島町の田淵方へ往つたが、雨は疾うに歇んで、西の方には黄色く夕燒が爲てゐた。

田淵は最う歸つてゐて、お豐の來るのを待つてゐたから、直ぐに二人は書齋に對座して、密々と噺し合つた。

『什麼だい京子さんの其後の擧動は？』と田淵が尋ねると、お豐は泣子に京子を訪うた時の模樣を語り、尙話談を續けて、

『今は妾を使ふ程の身分でないからと仰いましたけれど、御給金なんか什麼でも宜しうございますと旨く言つて、それなりずる〳〵にゐて、奥樣は忠實しく働くもんですから、悉皆妾の眞心に感心して了つて居らつしやるんですよ。でねね田淵さん、妾の考慮には、奥樣が金に御困りに成るやうにするんですね。然うして困つて〳〵身動きも出來ないやうに御成りに成つたところで、貴方が金を出して、助けて御遣りに爲る。申さば金で義理詰に爲て了うやうに仕懸けるんです』

『成程』

『ですから妾は、奥樣が何んでも餘計な金を御出しに成つて、早く御困りに成るやらにばつかし爲てるんですよ』

『僕も然ういふ意でゐたが、何にしろ二六時中京子さんの傍に居られないもんだから、實に困つてゐたのだよ。今ではお前が京子さんの傍にゐてくれるから、此上もない好都合だ。然うして京子さんの懐工合は甚麼樣子だね？』

『妾が參りました當座は、百圓位持つてると仰つてゞございましたが、御肖君の御禮や何んかで、最う餘程減つてゐるやうですよ。段々金が減つて往くもんですから、氣が氣でなく其事を心配してゐらつしやるやうですから、決して御心配遊ばしては不可ません、三百や四百は妾が貯金してるから、何時でも御用に立てますといふと、借りたつて今では一寸返す見込がないからと仰るんですから、妾は今までの御恩報じに御用立てるので、御返し下さるのが什麼の愁うのと言ふのむやでございませんと言つてるのですよ』

西洋料理 アイスクリーム おいしい京城第一との高評を博し居り候 南大門通 電話二五七一番 カフエータイガー

京城府明治町二ノ三二（元賓業會社跡） 花柳病 皮膚病 須古醫院 電話二一〇二番

宮内省御用達 最上淸酢 登録商標 MARUKAN 品質及醸造高日本第一也 美味滋養に於て日本第一也 京城太平通二丁目 日本醬油株式會社京城出張所 電話二四五番

◉早大の夏期講習　我邦大學教育普及事業の嚆矢たる早稻田大學校外教育部は共事業次第に發展し本年も朝鮮まで遠く出張講習をなすといふ今夏期開かるべき東京及び各地方講習會にして決定したる分左の如し

▲東京　同大學にて自七月二十日至二十九日　戰後經濟（田中法學博士）、世界大戰と日本（高橋法學博士）、實生活と法律の知識（中村法學博士）、人種衞生（永井醫學博士）、國民教育か公民教育か將た人格教育か（森岡文部省圖書官）、生活の價値（遠藤文學博士）、明治天皇御遺蹟と江戸史蹟（戸川殘花氏）、戰時貿易の大勢と戰後に對する施設（入木農商務書記官）、潜水艇の現在及び將來（日高海軍中佐）▲福岡縣宗像郡　八月一日至五日　民法（中村法學博士）▲秋田縣大館町　八月四日至十日　公民教育の要論（大山教授）▲山形縣東村山郡　八月一日至七日　憲法及自治制（副島法學博士）▲群馬縣群馬郡　八月十二日至十五日　文章論（五十嵐教授）▲大分縣北海部郡　八月八日至十二日　晩近教育思潮（中島（半）教授）▲秋田縣南秋田郡　八月二十四日至二十八日　戰後の教育（中島（半）教授）▲滋賀縣東淺井郡　八月上旬五日間　現代世界地理（志賀教授）▲廣島縣安藝郡　八月十七日至廿一日　支那を中心とせる列强大勢（青柳教授）▲岡山縣久米郡　八月八日至十二日　農業と教育（平沼教授）▲秋田縣雄勝郡　八月二十五日至二十九日　支那を中心とせる列强大勢（青柳教授）▲朝鮮元山　八月八日至十七日　世界現代地理（志賀教授）▲高知縣香川郡　八月上旬五日間　實踐倫理（内ヶ崎教授）（此他交渉中）

□山城吟社句錄　―六月二十三日於鶴城居―

鮎投ぐる岩に飛び立つ翡翠哉　友萍
翡翠の耕人に去る日暮哉　同
紙魚追ふて一日は友に疎かりし　同
風鈴や此頃住みし夫婦者　孤秋

▲公憤生、新歸朝者諸士に告ぐ過日來より脫靴云々の御公論は何れも要領を得ず大正の今日一般公衆の出入すべき營造物は土足の儘出入すべきを原則とす例外として下駄履の禁止理由は解せずとも了解せらるべし結局甲に土足を許し乙に許さゞるが如きは一個守衞其者の誤解なり爭ふに足らず公憤生の理論の如きは一層曲論也▲日給五十錢生に御答へ申す小學校長は學生の教育には從事し居らず小學校は兒童教育にあり中等學校は生徒大學以上の學校を以て學生と申す要は月々確定したる月謝金位は收入當時に別封として豫め準備し置かれても差支なかるべし若し足下注文より推せば家庭の御秩序と兒童の家庭教育も先づ推して知るべく如何にも勝手な御注文なり（貧書生）▲西洋人に脫靴を强ふるは大和民族を踏み付けたる所望なり敢て同志者の奮起を促す（自牟脊生）

□太刀山の歌　角田不案

夏痩せし土俵の上に四股をふむ力士まことに瘠に似たりけり
太刀山は睨み合ひけり滿場はなりをひそめて水打てることし
太刀山はあはれ鋭くもたちあがり力の吐息流れやまずも
太刀山の立ちあがりたる一瞬は嶮々しさ見つゝ悲壯しも
美くしきかぎりなけり太刀山の力の吐息夏と落けつゝ
萬人の瞳ひとしく土俵なる太刀山にのみ集注にけり
何といふ力なるかな太刀山は偉賞力の權化にてあるか
比ぶべき花さへあらじ太刀山はまこと男もみとれぬる男
一心に太刀山をみてかへりくればあがなきな兒はれむりすなほに
をさなごよ淋しかりしか何氣なく父は太刀山みにゆきぬなり。（六月二十八日）

□湖南吟社例會　七月七日於風骨庵　兼題　氷室、納涼臺

夜空吹く氷室山や稲風迅し　桃雨
夜伽疲れを涼臺に暫しまどろみ　同
夜な〳〵避け行く角の納涼臺　待霄
滿酒一斗妻も子もなし氷室守　靜山
城趾や氷室の屋根に古りて行く　月波
酒に賓る一人娘や氷室守　不倒
涼臺に戀を秘へ星流る　同
伐木厳禁の杉深林や氷室口　中京
山姫の懐火氷室開く夜とや　同
納涼臺殺すべき事　十亭
石鳴る吊り大鍋や地下氷室　春三
あられぬ時入寄る闇の納涼臺　淡女
涼臺や情話途切れて月白らむ　千水
白山下に熊飼ふて守る氷室哉　風里
讀み捨てし袂の文や納涼臺　同骨

蒸暑き室に萎や百日紅　同酢
風鈴や室々に吊す内廊　不同
翡翠や杭を數へて日の暮るゝ　同石
山羊繋ぐ杭に翡翠の小半日　寄
橋過ぎる梳避け行く翡翠哉　同
翡翠の嘴の水輪を見入りけり　未刀
翡翠や獸して見入る淵の渦　同城
翡翠や船繋ぎある橋の下　鶉佛
默し見る風鈴に小言流れけり　一女
翡翠や土橋を出でゝ何の籔　神岳

男女社員募集（日給入）
各地方駐在 外勤並に 月收五拾圓以上確實 地方に知己多き熱心眞面目なる活動家御希望者は自筆履歴書を左記迄御郵送を乞ふ 履歴書は採否に不拘返却せず（但し保證人二名を要す）
京城南大門驛前 二見旅館内 鈴木主任迄

理髪器の大革命

品質日本一 替及二枚換バネ 錆止油器械ハケ フケカキ、耳掻 耳掃除 附屬品付
眞正なる薄利多賣 萬々一切味惡き物有之候節 何れも五ケ年保證
おしろりうり同樣 六號七十錢 五號一圓 四號一圓三十錢 三號一圓七十錢 二號二圓 一號二圓三十錢 送料（内地一組廿錢 引替便卅五錢）
家庭用は御交換返金何にも應す 組合せ理髪器 定價 並製一圓七十錢 上製二圓六十錢 持製三圓 送料（内地卅錢 引替便四十五錢）
◉實用兼用鏡付箱入◉組入品拾壹點 ◉堅牢優美鏡台兼用携帯便利にして軍人、學生、青年團等の愛用頗る盛んなり
理髪機械 發賣元 東京神田區三河町二ノ十 振替口座東京三五六一 光賞堂

醇良無双清酒

無害衛生 品質無双
釀造元 福岡縣城島町 首藤合名會社
發賣元 京城府黄金町二丁目 首藤京城支店 電話長一七一一番
釜山港幸町 首藤釜山支店 電話長三四三番

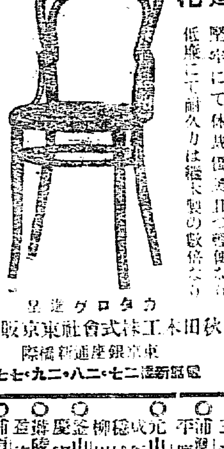
京城西小門町二一番地（舊醫院跡） 田中丸病院
院長 醫學士 田中丸治平 副院長 醫師 上野和夫 電話八八五番
【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり

暑中の御進物は
贈る人も、貰ふ人も、徳用で品格があり、時節柄に適した
花王石鹸に
限ると申される樣になつたのは全く時勢の進歩に伴ふ
新傾向です!!

花王石鹸製造元 東京代理店 東京馬喰町 長瀨商會
花王石鹸關西代理店 大阪安土町 大崎組商會

在庫豐富 迅速確實
◉英國サミールスボン製鋼會社關東代理店 ◉英國アーサーバルフオーア製鋼會社特約店
歐米鋼鐵、純國産鋼各種
井口鋼鐵商店 東京市神田區東紺屋町一番地 電話神田四〇九、六九七番 振替口座東京一四三八一番

京城明治町二丁目（元漢城病院下横通） 中央婦人病院 電話二三四〇番 院長 衣笠茂

テーブル 椅子 曲木細工
構造 堅牢にて休裁優美且つ輕便なり 價格 低廉にて耐久力は從來製の數倍なり
組織 運搬 組立組置しは何人にても容易なり 組外して荷造りするに至便都合なり

ウタグロ營業品 秋田木工株式會社東京販賣所 東京銀座通新橋際 電話新橋二七・二八・二九・二七〇七

資本金 貳千貳百七拾萬圓 積立金 壹千〇五拾五萬圓
株式會社第一銀行京城支店 京城本町二丁目（振替貯金京城一一番） 支配人 西村道彦
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候 内地滿鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候 明治火災保險株式會社代理店事務取扱申候

内科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町二丁目 石川醫院 電話一二三七・九二九番

朝鮮郵船 出帆

本社 京城南大門驛前 電話長一九五二・二三三三番 支店出張所代理店荷客取扱店に御照會相成度候 松原運送店 電話一七〇番

○關門より釜山各地經由雄基行（但し×印あるは江原道寄港せず）
×京畿丸 七月廿四日 釜山發
×忠清丸 七月十四日
咸鏡丸 七月十九日
柳川丸 月 日

○元山より各地經由雄基行
穩城丸 七月二十日 元山發
鏡城丸 七月十五日
三浦丸 七月十八日

○浦潮行（元山より城津清津經由）
平壤丸 七月十四日 元山發

○元山長箭間
咸鏡丸 七月廿三日 元山發
穩城丸 七月十九日
柳川丸 七月二十日

○釜山元山間
慶尚丸 月 日 釜山發

○濟陵島行浦項及各地經由
至德丸 七月十五日 釜山發

○浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由）
江陵丸 襄陽丸 毎日 釜山發

○濟州島行長承浦麗水巨文島經由
昌平丸 七月十三日 釜山發

○麗水行（各地經由）
海州丸 巨濟丸 統營丸 毎日 釜山發

○木浦麗水間（麗水にて釜山行接續）
順天丸 南陽丸 三日目毎に 木浦發

○木浦より濟州島行各島經由
西廻 公州丸 七月十五日 東廻 慶興丸 七月十七日 木浦發

○木浦行（群山其他各地經由）
晉州丸 七月十八日 麗水丸 七月十三日 仁川發

○多島海各島行
慶興丸 七月廿二日 木浦發

○鎭南浦行（海州其他各地經由）
宗信丸 七月十三日 仁川發

○海州行（江華島喬桐島經由）
全州丸 錦江丸 毎日 仁川發 但し三十一日は休航

商況 大阪明米

後場 寄 二十圓六十八錢 止 二十圓六十三錢 高値 二十圓六十八錢 安値 二十圓五十五錢

◉度量衡販賣高 京畿道管内にかける本年四月分度量衡器交付 計一萬三千八百十五個金額二百九十三圓……